

平成23年度

「基礎学力調査」

－ 結果の概要 －

平成23年7月
石川県教育委員会

目 次

I 調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査の対象等	1
(1) 児童生徒に対する調査	
(2) 教員に対する調査	
3 調査の日時	2
[本書における留意事項]	3
II 調査結果	4
1 教科に関する調査結果	4
《小学校第4学年 国語》	4
《小学校第4学年 算数》	6
《小学校第6学年 社会》	8
《小学校第6学年 理科》	10
《中学校第3学年 社会》	12
《中学校第3学年 理科》	14
《中学校第3学年 英語》	16
2 質問紙調査結果	18
《小学校第4学年》	18
《小学校第6学年》	22
《中学校第3学年》	24
《小学校教員》	26
《中学校教員》	28

I 調査の概要

1 調査の目的

児童生徒の基礎的・基本的な知識・技能や活用力（知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等）の定着状況，及び学習・生活状況について把握・分析し，学校における児童生徒への教育指導の改善を図る。併せて，教員の指導状況等を把握し，指導改善に役立てる。

2 調査の対象等

(1) 児童生徒に対する調査

○ 教科に関する調査

全公立小・中学校における次の学年の全児童生徒を対象に調査した。

ただし，調査の集計・分析については，各学校対象学年から無作為に1学級ずつを抽出して行った。

区 分	小学校第4学年	小学校第6学年	中学校第3学年
実 施 校 数	225校	225校	94校
実施児童生徒数	10,685人	10,732人	10,488人
対 象 教 科	国語・算数	社会・理科	社会・理科・英語
調査問題の範囲	小学校3年生までに学習した内容	小学校5年生までに学習した内容	中学校2年生までに学習した内容

○ 質問紙調査

教科に関する調査における集計・分析の抽出学級（各学校対象学年1学級）の児童生徒を対象に調査した。

区 分	小学校第4学年	小学校第6学年	中学校第3学年
実施児童生徒数	5,074人	5,352人	2,822人
調 査 の 内 容	学習に対する意識や家庭学習，生活習慣などの状況等に関する内容		

(2) 教員に対する調査

○ 質問紙調査

抽出した小・中学校における教員を対象に調査した。

区 分	小 学 校	中 学 校
実 施 校 数	77校	33校
実 施 教 員 数	1,193人	686人
調 査 の 内 容	授業における指導状況等に関する内容	

3 調査の日時

平成23年4月18日（月）

区 分	時限	小学校第4学年	小学校第6学年	中学校第3学年
教科に関する調査	1限	国語（45分）	社会（40分）	社会（45分）
	2限	算数（40分）	理科（40分）	理科（45分）
	3限			英語（45分）
質 問 紙 調 査	提出日までに、各学校の状況に応じて実施			

[本書における留意事項]

到達状況について

正答率の状況により，児童生徒の到達状況を次のように表記した。

正 答 率	「到達状況」を示す記号，用語
90%を上回っている場合	◎：良好である
80%～90%の場合	○：概ね良好である
70%～80%の場合	◇：基準に到達している
60%～70%の場合	▽：十分とはいえない
60%を下回っている場合	▼：不十分である

※正答率とは，全問題数に対する正答と準正答（内容的に正答に近く，概ね身に付けていると判断できる解答）を合計した数の割合のことをいう。

Ⅱ 調査結果

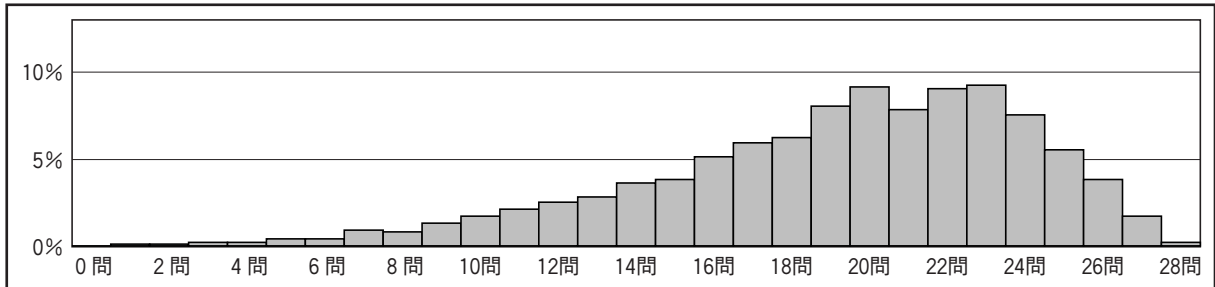
1 教科に関する調査結果

《小学校第4学年 国語》

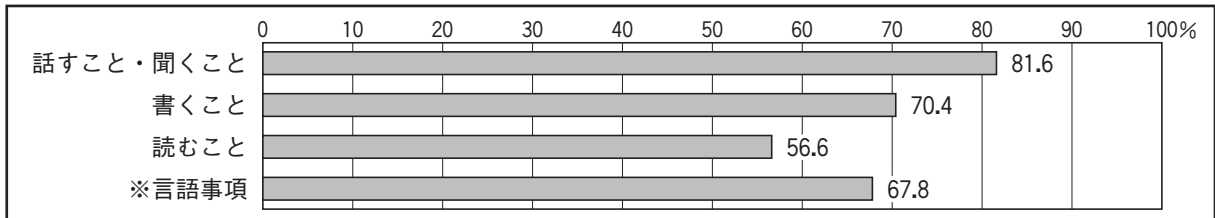
抽出児童数	平均正答率	平均正答数
5,067人	68.3%	19.1問 / 28問

【正答数分布グラフ】

(横軸：正答数, 縦軸：児童の割合)



【領域・分野ごとの正答率】



【正答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1 三⑥	漢字の読み (心配)	97.5
2 一③	内容の聞き取り (大事なこと)	93.7
3 三②	漢字の書き取り (始まる)	91.4

【正答率の低い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1 二②(2)	説明的文章の内容理解 (まとめ)	9.6
2 六③	ローマ字大文字「いしかわ」	39.0
3 七④表記	段落の続き方に注意して書く・句読点を正しく使用して書く	45.7

【無解答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	無解答率
1 六③	ローマ字大文字「いしかわ」	26.3
2 六②	ローマ字小文字「うさぎ」	16.3
3 七④	相手や目的に応じて適切に書く	9.3

【領域・分野ごとの到達状況の傾向】

◎：良好である ○：概ね良好である ◇：基準に到達している
▽：十分とはいえない ▼：不十分である

<p>【話すこと・聞くこと】 ◎：話の中心に気を付けて大事なことを聞き取ること [一③]</p> <p>【書くこと】 ○：敬体と常体の違いに注意しながらより良い表現に書き直すこと [七③] ▽：相手や目的に応じて書こうとすることの中心を明確にしながらかくこと [七④内容]</p> <p>【読むこと】 ◇：段落相互の関係を考え、文章を正しく読むこと [二①(2)] ▼：段落相互の関係を読み、要約すること [二②]</p> <p>【※言語事項】 ▽：主語と述語の関係を理解して、文中から抜き出すこと [四] ▼：ローマ字を読むこと [六]</p>

[] 内：設問番号

【各設問の正答率等】

小学校第4学年（国語）

設問 番号	領域 分野	問題の内容	評価の観点					割合(%)				
			国語への 関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての 知識・理解・技能	正答率	誤		無 解答	
									正答	準正答		答
一	話すこと 聞くこと	内容の聞き取り(話し合いの話題)	○	○			58.6	49.9	8.7	37.2	4.1	
		内容の順序		○			84.9	84.9	0.0	14.9	0.2	
		内容の聞き取り(大事なこと)		○			93.7	80.7	13.0	5.0	1.2	
		司会の内容		○			89.2	89.2	0.0	10.6	0.2	
二	※言語事項 読むこと	1(1) 辞書の使い方(言葉の意味)	○			○	46.0	46.0	0.0	50.5	3.5	
		1(2) 段落相互の関係(問いかけの段落)				○	73.0	73.0	0.0	25.5	1.5	
		1(3) 説明的文章の内容理解(イシダイの特徴)				○	46.8	46.8	0.0	48.8	4.4	
		2(1)A 説明的文章の内容理解(要点)				○	91.2	91.2	0.1	8.0	0.7	
		2(1)B 説明的文章の内容理解(要点)				○	62.3	62.2	0.1	36.8	0.9	
		2(2) 説明的文章の内容理解(まとめ)				○	9.6	8.2	1.3	82.7	7.7	
三	※言語事項	① 漢字の書き取り(親切)				○	54.7	54.7	0.0	40.7	4.6	
		② 漢字の書き取り(始まる)				○	91.4	91.4	0.0	6.7	1.9	
		③ 漢字の書き取り(世界)				○	84.7	84.7	0.0	14.7	0.7	
		④ 漢字の読み(毛筆)				○	66.1	66.1	0.0	31.9	2.1	
		⑤ 漢字の読み(整える)				○	84.4	84.4	0.0	13.9	1.7	
		⑥ 漢字の読み(心配)				○	97.5	97.5	0.0	1.7	0.8	
四	※言語事項	主語(たかしさんは) 述語(書きました)				○	61.4	56.7	4.7	37.0	1.6	
五	※言語事項	① 筆順(右)				○	55.5	55.5	0.0	44.1	0.3	
		② 筆順(用)				○	69.6	69.6	0.0	30.0	0.4	
六	※言語事項	① ローマ字小文字「こめ」				○	63.4	62.8	0.6	29.1	7.5	
		② ローマ字小文字「うさぎ」				○	68.1	68.1	0.0	15.6	16.3	
		③ ローマ字大文字「いしかわ」				○	39.0	38.4	0.6	34.7	26.3	
七	書くこと	1 書く必要のある事柄を選択して書く	○	○			88.8	43.6	45.2	7.2	3.9	
		2 書こうとすることの中心を明確にする	○	○			56.9	50.5	6.4	33.8	9.2	
		3 推敲	○	○	○		86.1	82.7	3.5	7.6	6.3	
		4条件 相手や目的に応じて適切に書く	○	○			80.0	76.6	3.4	10.7	9.3	
		4内容 相手や目的に応じて明確に書く		○			64.8	40.7	24.1	26.0	9.3	
		4表記 段落の続き方に注意して書く 句読点を正しく使用して書く			○	○		45.7	30.2	15.6	45.0	9.3

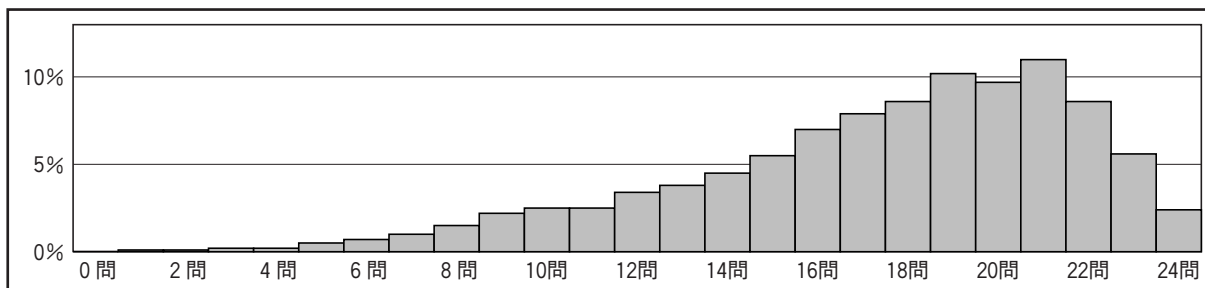
※言語事項：伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

《小学校第4学年 算数》

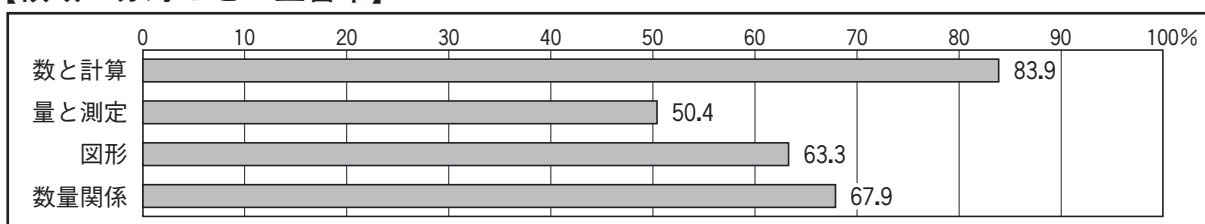
抽出児童数	平均正答率	平均正答数
5,068人	72.3%	17.3問 / 24問

【正答数分布グラフ】

(横軸：正答数, 縦軸：児童の割合)



【領域・分野ごとの正答率】



【正答率の高い設問】

	設問番号	問題の内容	正答率
1	1(5)	分数の加法計算	98.2
2	1(1)	繰り上がりのない加法計算	96.9
3	1(4)	余りのある除法計算	95.9

【正答率の低い設問】

	設問番号	問題の内容	正答率
1	3(2)	身近なかさの量感覚	31.1
2	3(1)	全体・容器・正味の重さの関係の読み取り	41.6
3	8	円の半径を使った二等辺三角形の性質	50.9
3	10(2)	2つの棒グラフを比較しての読み取りの説明	50.9

【無解答率の高い設問】

	設問番号	問題の内容	無解答率
1	10(1)	棒グラフの作成	20.5
2	10(2)	2つの棒グラフを比較しての読み取りの説明	6.3
3	9	減法の計算の工夫	5.4

【領域・分野ごとの到達状況の傾向】

◎：良好である ○：概ね良好である ◇：基準に到達している
 ▼：十分とはいえない ▼：不十分である

<p>【数と計算】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎：基本的な四則計算ができること [1(1)(3)(4)(5)] ○：除法の適用される場面を理解すること [2(3)式] <p>【量と測定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇：情報を取り出して道のりを計算すること [3(3)] ▼：全体・容器・正味の重さの関係を読み取り, 不足分の重さを求めること [3(1)] <p>【図形】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇：球の直径を理解すること [4(3)] ▼：円と二等辺三角形の性質を関連付けて, すべて二等辺三角形になる理由を説明すること [8] <p>【数量関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇：加法と減法の相互関係を図や式で捉えること [7] ▼：棒グラフから項目間の関係を読み取り, 説明すること [10(2)]
--

[] 内：設問番号

【各設問の正答率等】

小学校第4学年（算数）

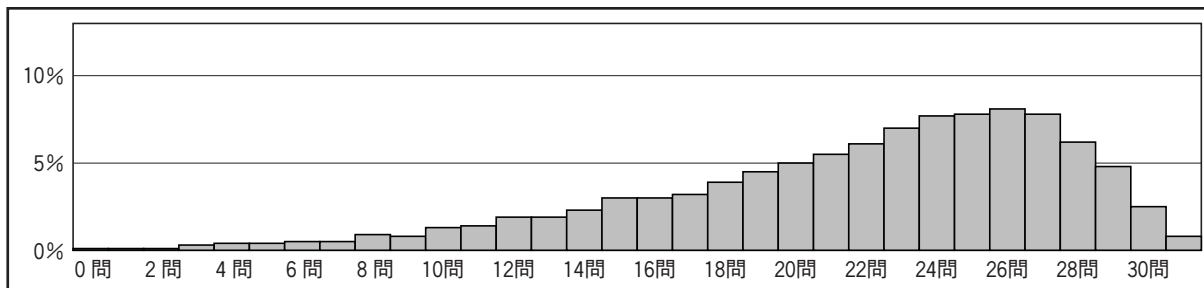
設問 番号	領域 分野	問題の内容	評価の観点				割合(%)				
			算数への 関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能 数量や図形についての	知識・理解 数量や図形についての	正 答 率	割 合		誤 答	無 解 答
								正答	準正答		
1	数と計算	(1) 繰り上がりのない加法計算			○		96.9	96.9	0.0	3.0	0.1
		(2) 波及的繰り下がりのある減法計算			○		87.3	87.2	0.1	12.0	0.7
		(3) 小数($\frac{1}{10}$ の位)の減法計算			○		93.7	93.6	0.0	6.1	0.2
		(4) 余りのある除法計算			○		95.9	95.9	0.0	3.1	1.0
		(5) 分数の加法計算			○		98.2	98.2	0.0	1.5	0.3
		(6) 3位数×2位数の筆算			○		85.4	83.6	1.9	14.2	0.3
2	数と計算	(1) 数の相対的大きさ				○	60.7	60.2	0.5	38.5	0.8
		(2) 数の系列(数直線表示)				○	76.1	76.0	0.1	22.7	1.2
		(3)式 除法の適用される場面				○	89.3	80.4	8.9	9.8	0.8
		(3)答 題意に即した余りの適切な処理		○	○		73.8	73.8	0.0	24.5	1.6
3	量と測定	(1) 全体・容器・正味の重さの関係の読み取り		○	○		41.6	41.6	0.0	57.7	0.7
		(2) 身近なかさの量感覚	○			○	31.1	31.0	0.0	68.3	0.7
		(3) 情報の取り出しと道のりの計算		○	○		78.5	78.4	0.1	20.5	1.0
4	図形	(1) 箱の形を構成する面の読み取り	○			○	60.0	59.8	0.1	38.9	1.1
		(2) 箱の形を構成する辺の数				○	68.4	68.4	0.0	29.0	2.5
		(3) 球の直径の理解		○		○	73.9	73.8	0.0	24.3	1.9
5	数量関係	情報の取り出しと計算の読み取り	○	○			69.9	40.8	29.2	26.3	3.8
6	数量関係	(1) 二次元表の読み方(特定項目の冊数)		○	○		66.2	40.9	25.4	31.9	1.9
		(2) 二次元表とグラフの読み取り		○	○		72.4	72.4	0.0	23.9	3.7
7	数量関係	加法と減法の相互関係	○	○			76.8	76.3	0.5	19.7	3.5
8	図形	円の半径を使った二等辺三角形の性質		○		○	50.9	50.8	0.1	46.3	2.7
9	数と計算	減法の計算の工夫		○	○		65.8	63.4	2.4	28.8	5.4
10	数量関係	(1) 棒グラフの作成			○		70.8	70.2	0.6	8.8	20.5
		(2) 2つの棒グラフを比較しての読み取りの説明	○	○			50.9	21.0	29.9	42.8	6.3

《小学校第6学年 社会》

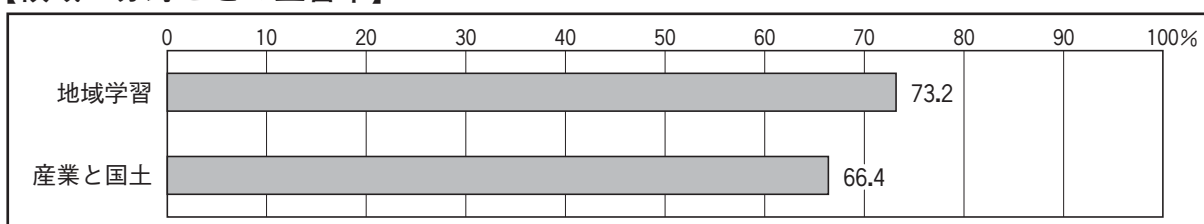
抽出児童数	平均正答率	平均正答数
5,350人	69.9%	21.7問 / 31問

【正答数分布グラフ】

(横軸：正答数, 縦軸：児童の割合)



【領域・分野ごとの正答率】



【正答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1	4(1) 昔と今の道具の移り変わり	92.4
2	1(1)① 石川県の地形(手取川)	91.1
3	3(4)② 適切な輸送機関	89.5

【正答率の低い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1	3(5) 日本の自動車の海外生産	34.1
2	2(1)① 日本の位置関係(大陸)	44.1
3	1(1)③ 石川県の市町の数	47.9
3	1(6) 石川県の伝統工芸の紹介	47.9

【無解答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	無解答率
1	6(3) ごみを減らし良い環境にするための工夫	19.6
2	1(6) 石川県の伝統工芸の紹介	17.2
3	2(1)① 日本の位置関係(大陸)	14.3

【領域・分野ごとの到達状況の傾向】

◎：良好である ○：概ね良好である ◇：基準に到達している ▼：十分とはいえない ▼：不十分である

[地域学習]

- ：地図帳を用いて、石川県の様子について必要な情報を検索すること〔1(1)②, (3)④(5)〕
- ▼：廃棄物に関するきまりについて資料から読み取ること〔6(1)〕
- ▼：身近な地域のことについて、学習したことをもとに考察し表現すること〔1(6), 6(3)〕
- ▼：石川県の市町の数を理解すること〔1(1)③〕

[産業と国土]

- ：工業生産を支える運輸の働きについて考え、理解すること〔3(4)〕
- ▼：地図帳を用いて、世界の主な大陸や海洋と我が国の国土との位置関係について読み取ること〔2(1)〕
- ▼：資料を通して、我が国の自動車工業について考え、理解すること〔3(1)②(3)〕
- ▼：日本の自動車の海外生産について複数の資料を関連付けて考え、表現すること〔3(5)〕

[]内：設問番号

【各設問の正答率等】

小学校第6学年（社会）

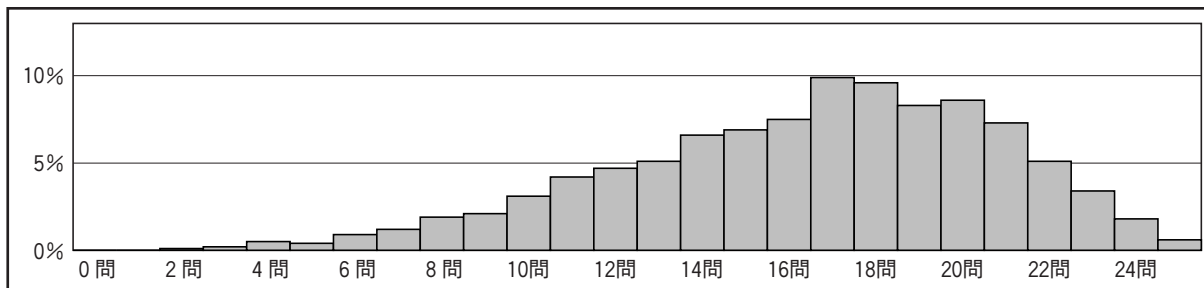
設問番号	領域分野	問題の内容	評価の観点			割合(%)						
			関心・意欲・態度	表現 社会的 事象への	観察・資料活用 の技能	知識・理解 社会的 事象について	正答率	正答	準正答	誤答	無解答	
1	地域学習	(1)①				○	91.1	90.7	0.4	7.8	1.1	
		(1)②			○	○	80.8	80.7	0.1	14.4	4.7	
		(1)③				○	47.9	47.6	0.2	43.9	8.2	
		(2)④	○		○		48.8	48.8	0.1	43.1	8.1	
		(3)⑤				○	81.7	81.6	0.0	13.7	4.6	
		(3)⑥				○	66.8	66.4	0.5	29.9	3.3	
		(4) b				○	○	75.2	73.4	1.8	21.0	3.7
		(4) c				○	○	88.8	86.8	2.1	8.2	3.0
		(5)	○		○		88.5	87.4	1.1	8.4	3.1	
		(6)	○	○			47.9	22.3	25.6	34.9	17.2	
2	産業と国土	(1)①				○	44.1	44.1	0.0	41.6	14.3	
		(1)②				○	73.7	72.1	1.6	20.5	5.7	
		(1)③				○	82.5	82.4	0.1	13.5	4.0	
		(1)④				○	63.0	63.0	0.0	22.7	14.3	
		(1)⑤				○	81.0	74.3	6.7	11.7	7.3	
		(2)				○	65.1	64.2	0.9	24.3	10.6	
3	産業と国土	(1)				○	56.9	56.4	0.5	41.9	1.2	
		(2)				○	59.1	59.1	0.0	36.5	4.4	
		(3)			○		53.8	53.8	0.0	44.2	2.1	
		(4)①			○	○	83.6	83.6	0.0	14.8	1.6	
		(4)②			○	○	89.5	89.3	0.2	9.0	1.6	
		(5)			○	○	34.1	16.4	17.7	53.0	12.9	
4	地域学習	(1)				○	○	92.4	92.4	0.0	5.5	2.2
		(2)				○	○	74.0	74.0	0.0	22.1	4.0
		(3)				○		82.5	74.1	8.4	8.2	9.3
5	産業と国土	(1)				○	○	83.6	83.5	0.1	10.7	5.7
		(2)				○	○	48.8	48.8	0.0	43.4	7.8
		(3)				○	○	76.7	76.7	0.0	15.8	7.5
6	地域学習	(1)				○	○	66.2	66.2	0.0	23.7	10.1
		(2)				○	○	83.4	83.4	0.0	3.3	13.3
		(3)	○	○			55.6	48.2	7.4	24.8	19.6	

《小学校第6学年 理科》

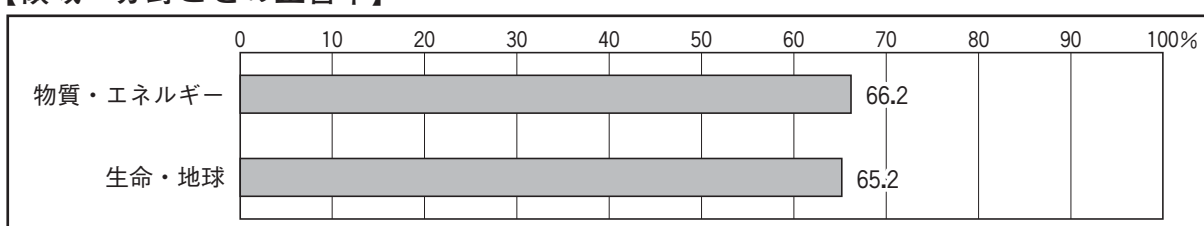
抽出児童数	平均正答率	平均正答数
5,352人	65.7%	16.4問 / 25問

【正答数分布グラフ】

(横軸：正答数, 縦軸：児童の割合)



【領域・分野ごとの正答率】



【正答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1	7(2) メダカの卵の中の養分	93.5
2	1(1) 筋肉の存在と名称の理解	90.9
3	7(3) メダカとインゲンマメの各部位の比較対応	90.5

【正答率の低い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1	4(3) 水蒸気の結露	6.2
2	2(1) 溶解度のグラフから物質を特定する	31.4
3	8(1) かげのでき方と方位	40.9

【無解答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	無解答率
1	4(3) 水蒸気の結露	9.8
2	5(1)② 並列つなぎの回路のつなぎ方	7.9
3	4(2) 水が凍ったときの体積変化	7.5

【領域・分野ごとの到達状況の傾向】

◎：良好である ○：概ね良好である ◇：基準に到達している ▼：十分とはいえない ▼：不十分である

【物質・エネルギー】

- ：電磁石の強さとコイルの巻き数の関係を調べる実験方法について考えること [3(3)]
- ▽：回路のつなぎ方を図示すること [5(1)(3)]
- ▼：水が凍ったときの体積変化について理解すること [4(2)]
- ▼：溶解度のグラフから物質を特定することや溶け残りを溶かす方法について理解すること [2(1)(2)]

【生命・地球】

- ◎：メダカの卵中の養分の働きについて理解することやインゲンマメと比較すること [7(2)(3)]
- ：雲画像から天気を読み取ること [6(2)]
- ▼：関節が曲がるときの筋肉の働きについて考察すること [1(3)]
- ▼：かげのできる位置の変化と太陽の動きの関係について考察すること [8(1)(3)]
- ▼：空気中の水蒸気が結露して水滴になることについて説明すること [4(3)]

[] 内：設問番号

【各設問の正答率等】

小学校第6学年（理科）

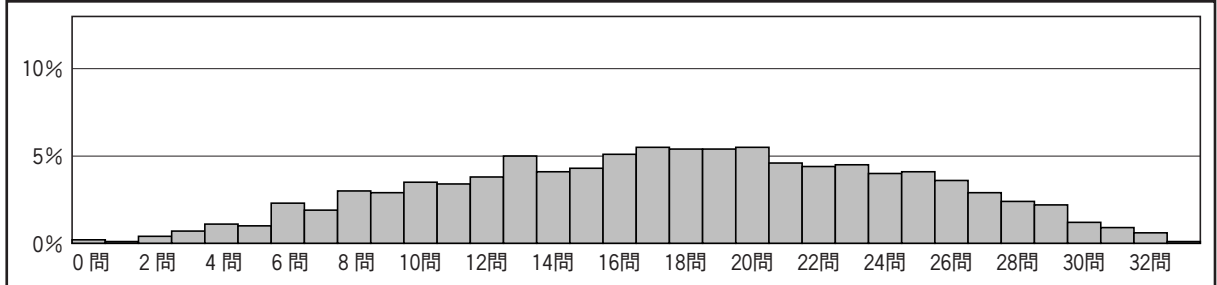
設問 番号	領域 分野	問題の内容	評価の観点				割合(%)					
			関心・ 意欲・ 態度	自然事象への 科学的な思考・ 表現	観察・ 実験の 技能	知識・ 理解 自然事象に ついての	正 答 率	割		誤 答	無 解 答	
								正答	準正答			
1	生命・地球 (生命)	(1)	筋肉の存在と名称の理解				○	90.9	90.5	0.4	8.5	0.5
		(2)	関節の働きと名称の理解				○	81.3	79.8	1.5	15.6	3.1
		(3)	関節が曲がるときの筋肉の働き	○	○			49.0	49.0	0.0	50.9	0.1
2	物質・ エネルギー (粒子)	(1)	溶解度のグラフから物質を特定する				○	31.4	31.4	0.0	68.4	0.1
		(2)	溶け残りを溶かすための方法				○	55.5	55.5	0.0	44.3	0.2
		(3)	ろ液にも溶質が溶けていることの理解				○	78.1	75.7	2.4	18.3	3.7
3	物質・ エネルギー (エネルギー)	(1)	電磁石の極の判断				○	65.8	65.2	0.7	33.7	0.4
		(2)	電磁石の極を入れ替える方法				○	78.4	62.9	15.6	18.0	3.6
		(3)	電磁石の強さがコイルの巻き数によって変わるのかを調べる実験方法				○	85.3	85.3	0.0	14.6	0.1
4	物質・ エネルギー (粒子)	(1)	水が凍る温度				○	75.8	75.8	0.0	23.9	0.3
		(2)	水が凍ったときの体積変化				○	41.5	39.8	1.7	51.0	7.5
	(3)	生命・地球 (地球)	水蒸気の結露	○	○			6.2	6.1	0.2	83.9	9.8
5	物質・ エネルギー (エネルギー)	(1)①	直列つなぎの回路のつなぎ方				○	56.4	54.4	2.0	36.2	7.3
		(1)②	並列つなぎの回路のつなぎ方				○	66.2	63.7	2.5	25.9	7.9
		(2)	回路のつなぎ方と豆電球の明るさ				○	81.8	81.8	0.0	17.5	0.7
		(3)	検流計を入れた回路のつなぎ方				○	78.5	75.9	2.6	18.0	3.6
6	生命・地球 (地球)	(1)	雲の様子と天気の変化	○			○	67.2	67.2	0.0	32.6	0.2
		(2)	雲画像の読み取り				○	80.3	79.3	1.0	18.3	1.4
		(3)	天気の変化の予想				○	58.6	55.3	3.3	37.9	3.5
7	生命・地球 (生命)	(1)	メダカの卵の大きさ	○			○	78.9	78.9	0.0	20.9	0.2
		(2)	メダカの卵の中の養分				○	93.5	93.5	0.0	6.3	0.2
		(3)	メダカとインゲンマメの各部位の比較対応	○	○			90.5	90.5	0.0	9.2	0.3
8	生命・地球 (地球)	(1)	かげのでき方と方位				○	40.9	40.9	0.0	58.6	0.5
		(2)	かげと太陽の位置関係				○	65.8	65.8	0.0	33.7	0.4
		(3)	かげの位置の変化と太陽の動きの関係				○	44.0	42.3	1.7	51.4	4.6

《中学校第3学年 社会》

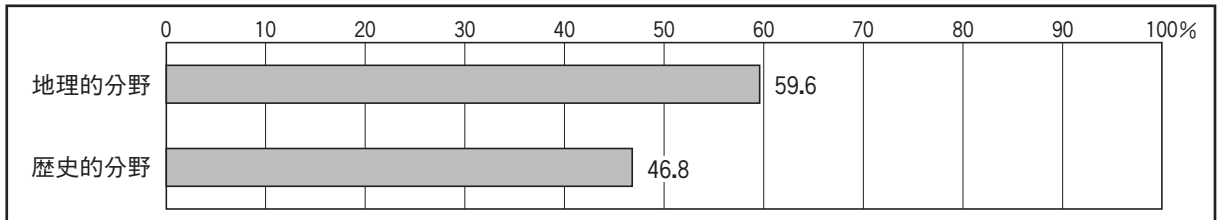
抽出生徒数	平均正答率	平均正答数
2,820人	53.4%	17.6問 / 33問

【正答数分布グラフ】

(横軸：正答数, 縦軸：生徒の割合)



【領域・分野ごとの正答率】



【正答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1	1(1)D 六大陸 (オーストラリア大陸)	89.8
2	1(1)あ 三大洋 (太平洋)	79.0
3	6(1) 富国強兵	77.9

【正答率の低い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1	1(6) 地図と地球儀の違い	23.1
2	2(2) 年表をもとに用語を選択 (墾田永年私財法)	26.6
3	2(3)D 歴史上の人物 (桓武天皇)	27.7

【無解答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	無解答率
1	2(3)D 歴史上の人物 (桓武天皇)	27.1
2	6(4) 学習課題に対する予想	26.2
3	4(1) 将軍と御家人の関係	25.1

【領域・分野ごとの到達状況の傾向】

◎：良好である ○：概ね良好である ◇：基準に到達している ▼：十分とはいえない ▼：不十分である

【地理的分野】

- ◇：地図から必要な情報を的確に読み取り, 判断すること [1(5)]
- ▽：複数の資料から読み取ったことを関連付けて表現すること [3(5)①②]
- ▼：資料から必要な情報を的確に読み取り, 判断すること [3(4)]

【歴史的分野】

- ◇：歴史的事象について資料から読み取ること [4(2), 6(1)]
- ▼：歴史的事象について理解すること [2(1)②③, 4(3)④, 6(2)③]
- ▼：歴史的事象の意味・意義を解釈し, 表現すること [4(1), 6(5)]
- ▼：時代の特徴を捉えること [2(5), 4(5)]

[] 内：設問番号

【各設問の正答率等】

中学校第3学年（社会）

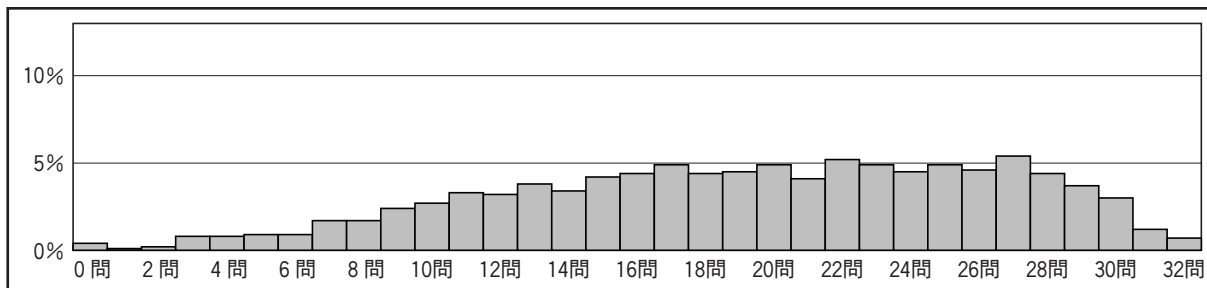
設問 番号	領域 分野	問題の内容	評価の観点				割合(%)					
			社会的 事象への 関心・ 意欲・ 態度	社会的 な思考・ 判断	資料 活用 の技能・ 表現	社会的 事象に ついての 知識・ 理解	正 答 率	誤		無 解 答		
								正答	準正答		答	
1	地理的分野	(1)あ	三大洋(太平洋)				○	79.0	79.0	0.0	19.1	1.9
		(1)D	六大陸(オーストラリア大陸)				○	89.8	89.8	0.0	8.5	1.7
		(2)①	主な国の位置と名称(スペイン)				○	56.8	56.8	0.0	42.2	1.0
		(2)②	世界の地域区分(南アメリカ州)				○	72.6	72.6	0.0	26.0	1.5
		(3)	緯度と経度による位置関係				○	56.5	56.5	0.0	40.6	2.8
		(4)	時差の計算				○	42.0	38.3	3.7	45.0	13.0
		(5)	世界地図の読み取り(方位)				○	72.4	72.4	0.0	24.9	2.7
		(6)	地図と地球儀の違い				○	23.1	16.2	6.9	58.0	18.9
2	歴史的分野	(1)	年代の表し方(世紀)				○	49.6	49.6	0.0	46.5	4.0
		(2)	年表をもとに用語を選択(壘田永年私財法)				○	26.6	26.6	0.0	72.7	0.7
		(3)C	歴史上の人物(聖武天皇)				○	62.0	62.0	0.0	21.8	16.2
		(3)D	歴史上の人物(桓武天皇)				○	27.7	27.7	0.0	45.2	27.1
		(4)	資料の読み取り・表現				○	51.8	5.8	46.0	27.9	20.3
		(5)	時代の特色(国風文化)				○	40.5	40.5	0.0	58.7	0.9
3	地理的分野	(1)	三角州				○	60.9	60.9	0.0	29.6	9.6
		(2)	縮尺と実際の距離				○	41.6	41.6	0.0	51.7	6.7
		(3)	地形図の読み取り				○	57.8	57.8	0.0	41.0	1.2
		(4)	雨温図の読み取り				○	49.8	49.8	0.0	49.1	1.0
		(5)①	複数の資料の関連付け				○	67.9	66.1	1.9	20.5	11.6
		(5)②	複数の資料の関連付け				○	53.5	50.2	3.3	28.1	18.4
4	歴史的分野	(1)	将軍と御家人の関係				○	29.0	26.0	3.0	45.9	25.1
		(2)	できごとの影響(元寇)				○	72.8	72.8	0.0	26.3	0.9
		(3)	説明文から用語を選択(惣)				○	50.2	50.2	0.0	48.8	1.0
		(4)	説明文から用語を解答(応仁の乱)				○	37.3	37.3	0.0	39.3	23.4
		(5)	時代の特色(中世)				○	62.5	62.5	0.0	35.3	2.2
5	地理的分野	(1)	都道府県の位置と名称・地域区分(近畿地方)				○	54.2	54.2	0.0	42.3	3.5
		(2)	収穫量の割合の算出				○	60.5	60.5	0.0	37.5	2.0
		(3)	複数の主題図の読み取り				○	74.1	51.9	22.2	12.3	13.6
6	歴史的分野	(1)	富国強兵				○	77.9	77.9	0.0	21.2	0.9
		(2)	歴史上の人物(西郷隆盛)				○	55.7	55.7	0.0	28.5	15.8
		(3)	内閣制度確立後のできごと				○	41.9	41.9	0.0	55.9	2.2
		(4)	学習課題に対する予想				○	30.8	29.9	0.9	43.0	26.2
		(5)	日露戦争前の関係図				○	32.7	32.6	0.1	52.8	14.5

《中学校第3学年 理科》

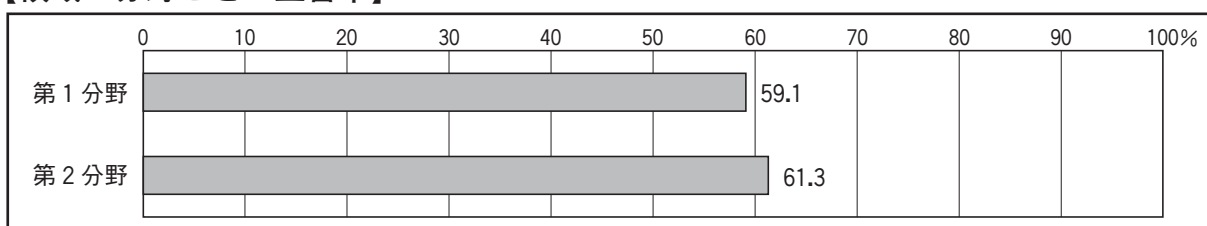
抽出生徒数	平均正答率	平均正答数
2,822人	60.2%	19.3問 / 32問

【正答数分布グラフ】

(横軸：正答数, 縦軸：生徒の割合)



【領域・分野ごとの正答率】



【正答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1	5(1) 塩化コバルト紙による水の確認	93.1
2	2(2) 反射	87.2
3	2(1) 神経系の名称	87.1

【正答率の低い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1	8(2) 露点から湿度を求める	24.2
2	6(4) 対照実験の必要性	24.8
3	7(4) 実像を結ぶときの規則性	33.1

【無解答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	無解答率
1	8(2) 露点から湿度を求める	23.5
2	8(3) 露点の実験の注意点	20.7
3	4(3) 火成岩の組織の特徴	19.1

【領域・分野ごとの到達状況の傾向】

◎：良好である ○：概ね良好である ◇：基準に到達している ▼：十分とはいえない ▼：不十分である

[第1分野]

- ◎：水の生成を塩化コバルト紙によって確認すること [5(1)]
- ：誘導電流を大きくする方法について考えること [1(3)]
- ▼：水素の燃焼における化学反応式について理解すること [5(3)]
- ▼：物体の体積と質量から密度を計算して求めること [3(1)]
- ▼：凸レンズによる実像と光源の位置の関係について、その規則性を考察すること [7(4)]

[第2分野]

- ：ヒトの神経系とその働きについて理解すること [2(1)(2)]
- ：植物の光合成や呼吸について理解すること [6(2)(3)]
- ▼：対照実験の意図について考察し表現すること [6(4)]
- ▼：露点から湿度を求めること [8(2)]

[] 内：設問番号

【各設問の正答率等】

中学校第3学年（理科）

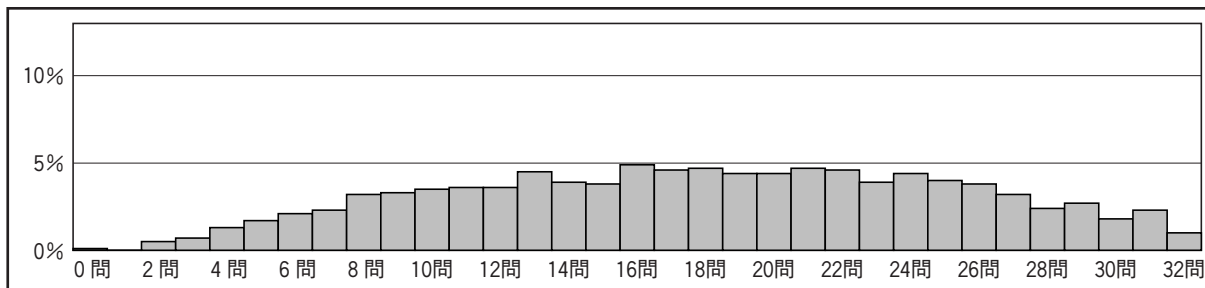
設問 番号	領域 分野	問題の内容	評価の観点				割合(%)				
			自然 現象への 関心・ 意欲・ 態度	科学 的 な 思 考	観 察 ・ 実 験 の 技 能 ・ 表 現	知 識 ・ 理 解	自然 現象 に つ い て の	正 答 率	誤		無 解 答
									正答	準正答	
1	第1分野	(1) 電磁誘導				○	51.9	48.8	3.1	35.7	12.4
		(2) 電磁誘導の規則性		○			54.3	54.3	0.0	44.4	1.3
		(3) 誘導電流を大きくする方法	○	○			85.0	84.2	0.8	7.5	7.5
2	第2分野	(1) 神経系の名称				○	87.1	84.8	2.3	6.2	6.7
		(2) 反射				○	87.2	86.1	1.1	8.0	4.8
		(3) 反射の経路		○		○	71.9	71.9	0.0	27.3	0.8
		(4) 反射の役割	○	○			77.8	63.9	13.9	15.0	7.2
3	第1分野	(1) 密度の計算	○			○	42.8	42.8	0.0	39.1	18.1
		(2) 状態変化で質量が変化しないこと				○	60.5	60.2	0.3	35.1	4.5
		(3) 状態変化での体積変化の理解			○	○	62.9	62.9	0.0	36.1	1.0
4	第2分野	(1) マグマの粘りけと噴火の関係		○		○	65.1	65.1	0.0	34.3	0.7
		(2) 鉱物の特徴の観察				○	62.4	62.4	0.0	35.7	1.9
		(3) 火成岩の組織の特徴			○	○	44.5	31.5	13.0	36.4	19.1
		(4) マグマの冷え方と火成岩の関係		○			38.0	26.8	11.2	49.2	12.8
5	第1分野	(1) 塩化コバルト紙による水の確認			○		93.1	92.1	1.0	5.1	1.8
		(2) 原子・分子モデルによる表し方		○	○		46.6	46.5	0.1	50.0	3.4
		(3) 化学反応式			○	○	44.8	44.6	0.1	47.6	7.6
6	第2分野	(1) 光合成による二酸化炭素の吸収	○	○			80.2	80.2	0.0	19.1	0.7
		(2) 葉のはたらき(光合成)				○	85.8	85.2	0.6	9.5	4.7
		(3) 葉のつくり(気孔)				○	85.0	83.0	2.1	7.7	7.3
		(4) 対照実験の必要性		○			24.8	24.5	0.3	62.0	13.2
7	第1分野	(1) 凸レンズの焦点				○	78.8	77.0	1.8	14.5	6.7
		(2) 凸レンズを通る光の進み方				○	74.8	74.5	0.3	15.9	9.3
		(3) 実像を結ぶときの作図方法		○	○		54.0	53.5	0.5	42.8	3.1
		(4) 実像を結ぶときの規則性	○	○			33.1	33.1	0.0	65.7	1.3
8	第2分野	(1) 露点の実験の意味		○		○	62.2	62.2	0.0	36.6	1.3
		(2) 露点から湿度を求める			○		24.2	23.4	0.9	52.3	23.5
		(3) 露点の実験の注意点		○	○		46.5	1.2	45.3	32.8	20.7
		(4) 雲の発生のしかた				○	38.7	38.7	0.0	59.8	1.5
9	第1分野	(1) 気体の捕集方法	○		○		47.2	5.4	41.8	42.6	10.2
		(2)① 捕集される気体の性質		○		○	73.5	73.5	0.0	24.8	1.7
		(2)② 捕集される気体の性質		○		○	42.9	42.9	0.0	55.5	1.6

《中学校第3学年 英語》

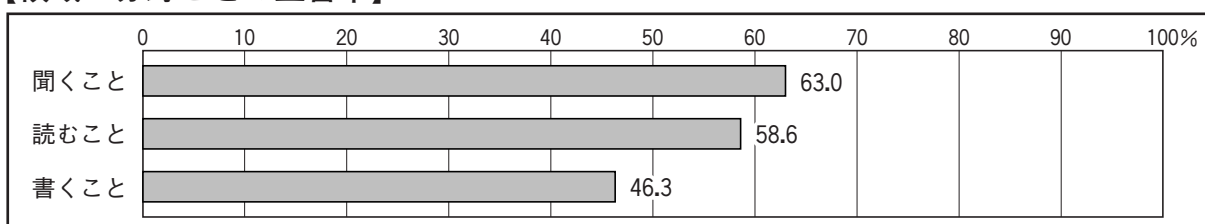
抽出生徒数	平均正答率	平均正答数
2,822人	55.8%	17.8問 / 32問

【正答数分布グラフ】

(横軸：正答数, 縦軸：生徒の割合)



【領域・分野ごとの正答率】



【正答率の高い設問】

	設問番号	問題の内容	正答率
1	3-No.1	要点(将来なりたい職業)の聞き取り	95.9
2	1-No.2	絵の内容を表す英文(過去と現在の値段)の聞き取り	91.5
3	8(1)	状況の読み取り	87.2

【正答率の低い設問】

	設問番号	問題の内容	正答率
1	9(2)	There are～(存在)を用いた文を正しく書くこと	18.7
2	8(2)	大切な部分の読み取り	22.8
3	9(3)	動名詞(enjoy～ing)を用いた文を正しく書くこと	29.4

【無解答率の高い設問】

	設問番号	問題の内容	無解答率
1	10	まとまりのある内容で先生を紹介する文を書くこと	29.2
2	9(2)	There are～(存在)を用いた文を正しく書くこと	27.9
3	9(3)	動名詞(enjoy～ing)を用いた文を正しく書くこと	27.5

【領域・分野ごとの到達状況の傾向】

◎：良好である ○：概ね良好である ◇：基準に到達している ▼：十分とはいえない ▼：不十分である

[聞くこと]

- ◇：ポイントとなる語を正しく聞き分けて、絵の内容を表す英文を理解すること〔1〕
- ▼：まとまりのある英文を聞いて、内容を整理しながら要点や詳細な情報を聞き取ること〔3-No.2・3〕

[読むこと]

- ▼：短い英文を読んで、具体的な場面や状況とそれらに合う表現を読み取ること〔4〕
- ▼：まとまりのある英文を読んで、内容を整理しながら概要や書き手の意向を読み取ること〔7, 8(2)・3〕

[書くこと]

- ▼：場面や状況に応じた内容、伝えたい情報を正しい語順や語法で書くこと〔6, 9〕
- ▼：自分の考えや気持ちが正しく伝わるように、まとまりのある英文を書くこと〔10〕

[]内：設問番号

【各設問の正答率等】

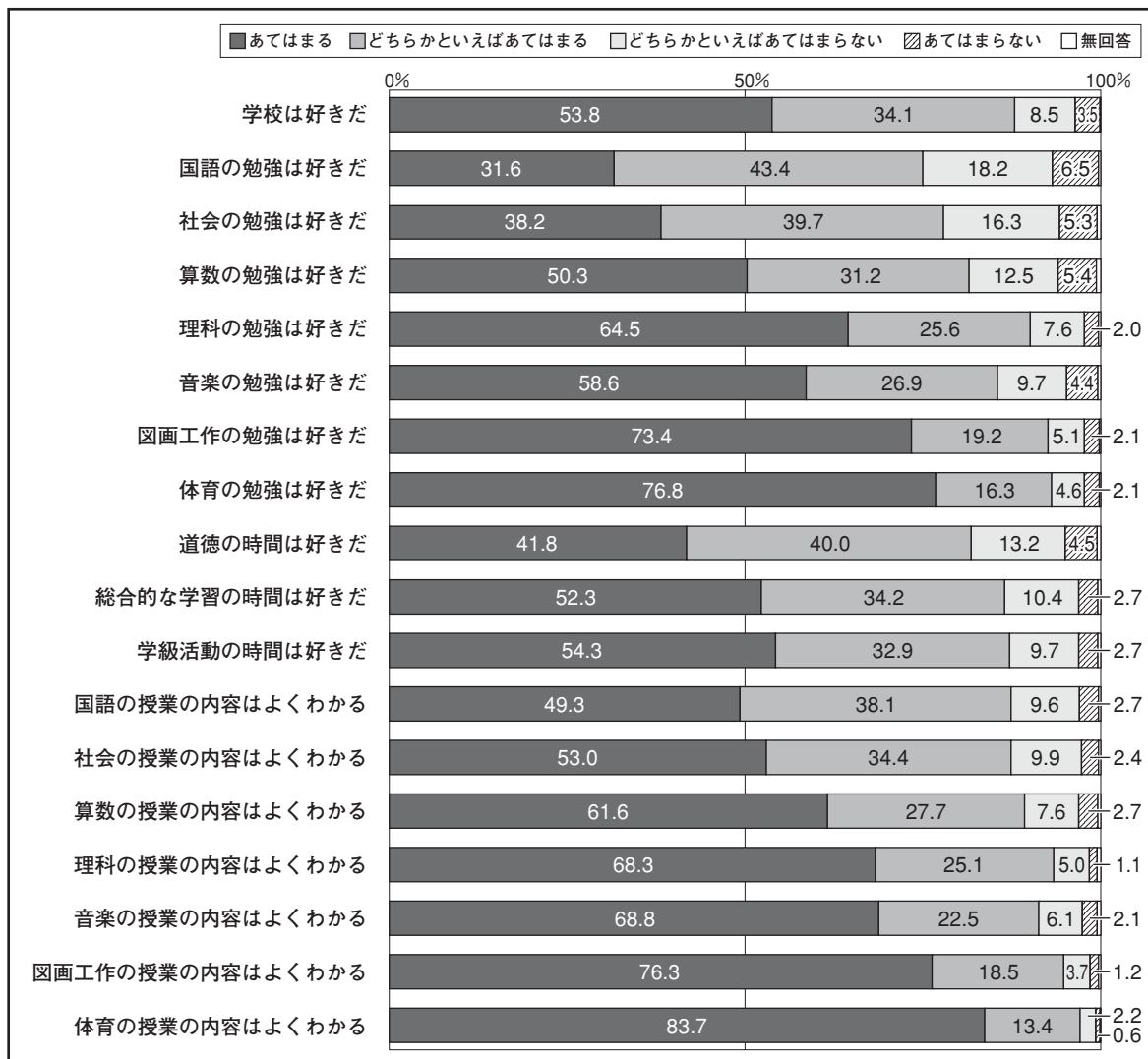
中学校第3学年（英語）

設問 番号	領域 分野	問題の内容	評価の観点				割合(%)					
			の 関心 ・ 意欲 ・ 態度	表 現 の 能 力	理 解 の 能 力	知 識 ・ 理 解	言 語 や 文 化 に つ い て の	正 答 率	正 答	準 正 答	誤 答	無 解 答
1	聞くこと	No 1	絵の内容を表す英文(場所を表す言葉)の聞き取り			○						
		No 2	絵の内容を表す英文(過去と現在の値段)の聞き取り			○		91.5	91.5	0.1	8.0	0.5
		No 3	絵の内容を表す英文(比較表現)の聞き取り			○		70.8	70.8	0.0	28.6	0.6
2	聞くこと	No 1	話しかけ(Can I ~ ?)への応答			○		48.4	48.4	0.0	51.1	0.5
		No 2	話しかけ(When did ~ ?)への応答			○		56.7	56.7	0.0	42.4	0.9
		No 3	話しかけ(Why don't you ~ ?)への応答			○		70.3	70.3	0.0	29.3	0.4
		No 4	話しかけ(How was ~ ?)への応答			○		62.1	62.1	0.0	37.2	0.7
3	聞くこと	No 1	要点(将来なりたい職業)の聞き取り			○		95.9	92.8	3.2	1.8	2.3
		No 2	要点(なりたい理由)の聞き取り			○		46.7	4.7	42.0	38.3	15.0
		No 3	詳細(バスの所要時間)の聞き取り			○		35.2	34.7	0.5	59.5	5.3
4	読むこと	(1)	人称代名詞(所有格)の理解			○	○	75.6	75.6	0.0	24.2	0.2
		(2)	助動詞を用いた文(Shall I ~ ?)の理解			○	○	81.3	81.3	0.0	18.4	0.3
		(3)	現在進行形の理解			○	○	37.7	37.6	0.0	62.0	0.3
		(4)	疑問詞を用いた疑問文の理解			○	○	74.6	74.6	0.0	24.9	0.5
		(5)	電話での応答の理解			○	○	64.0	64.0	0.0	35.5	0.6
		(6)	疑問文(Which ~ ?)への応答の仕方の理解			○	○	50.0	50.0	0.0	49.2	0.9
		(7)	反対する際の表現の理解			○	○	73.7	73.7	0.0	25.0	1.3
5	書くこと	(1)	前置詞句の後置修飾を用いた文の語順			○	○	61.3	61.1	0.2	38.1	0.6
		(2)	主語+動詞+目的語の文の語順			○	○	58.1	57.9	0.1	41.3	0.6
		(3)	目的を表す to 不定詞を用いた文の語順			○	○	61.2	61.1	0.1	37.7	1.1
		(4)	接続詞(if)を用いた文の語順			○	○	65.4	65.3	0.1	33.5	1.1
6	書くこと	(1)	礼への返答をする際の表現	○	○			50.9	41.4	9.5	35.8	13.3
		(2)	依頼する際の表現	○	○			42.3	16.9	25.4	39.1	18.6
		(3)	苦情を言う際の表現	○	○			47.6	16.4	31.2	31.6	20.8
7	読むこと		文章の概要の読み取り			○		46.7	46.7	0.0	52.2	1.1
8	読むこと	(1)	状況の読み取り			○		87.2	87.2	0.0	11.6	1.2
		(2)	大切な部分の読み取り			○		22.8	10.6	12.2	62.3	14.9
		(3)	話し手の伝えたい情報の読み取り			○		31.5	31.5	0.0	66.7	1.7
9	書くこと	(1)	最上級(the biggest)を用いた文を正しく書くこと	○	○			34.9	30.2	4.7	47.8	17.3
		(2)	There are ~ (存在)を用いた文を正しく書くこと	○	○			18.7	17.5	1.2	53.4	27.9
		(3)	動名詞(enjoy ~ ing)を用いた文を正しく書くこと	○	○			29.4	26.4	3.0	43.1	27.5
10	書くこと		まとまりのある内容で先生を紹介する文を書くこと	○	○			39.5	7.1	32.4	31.3	29.2

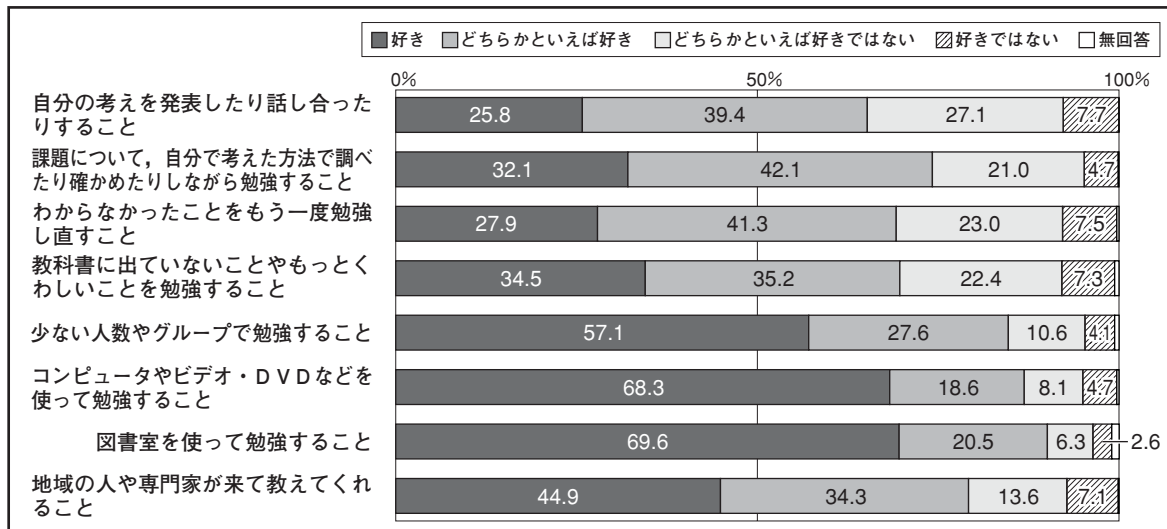
2 質問紙調査結果

《小学校第4学年》 学校数(児童数)：225校(5,074人)

1 あなたは、次のことについてどのように思っていますか。

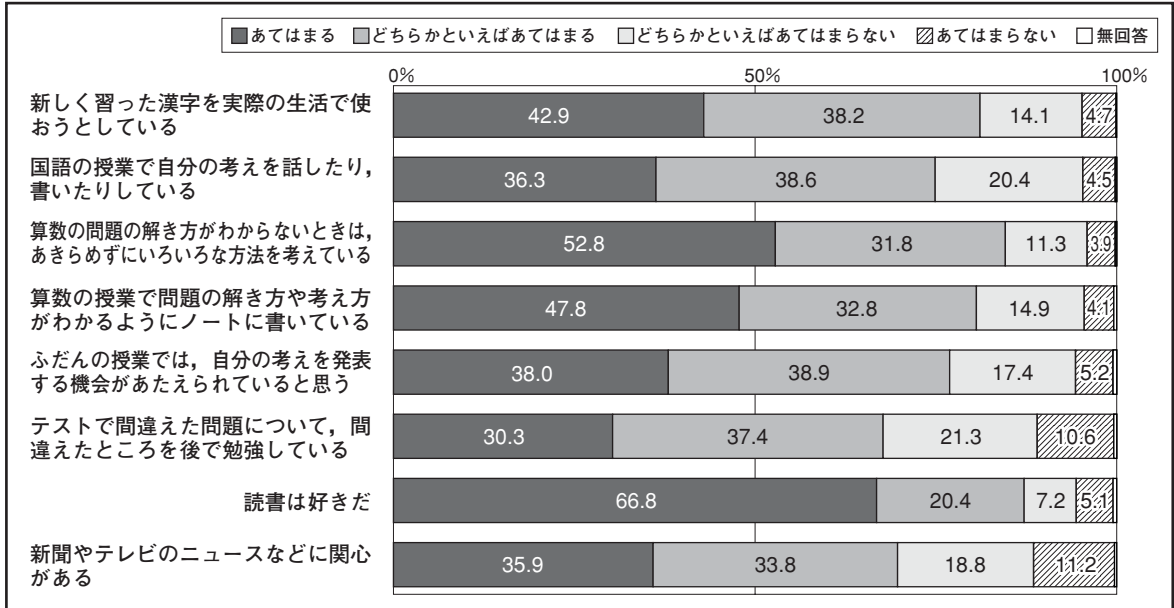


2 あなたは、授業の中で次のようなことは好きですか。

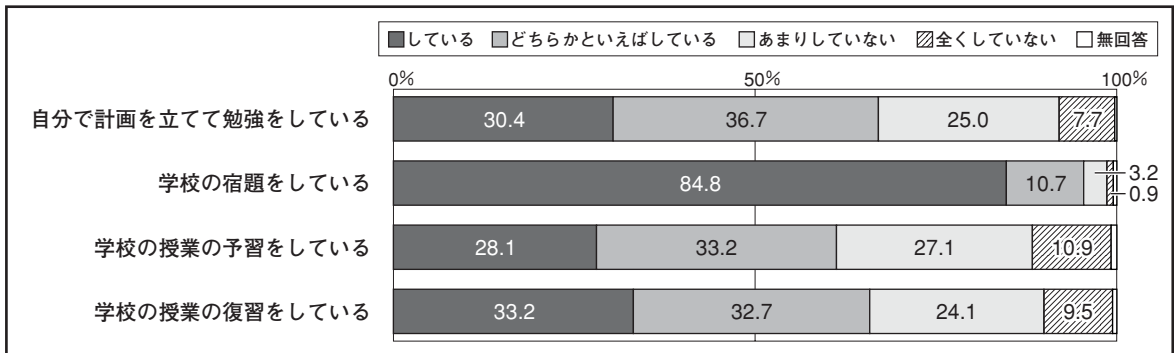


※質問紙調査結果 (P18~29) については、無回答の割合(数値)は表記していない。

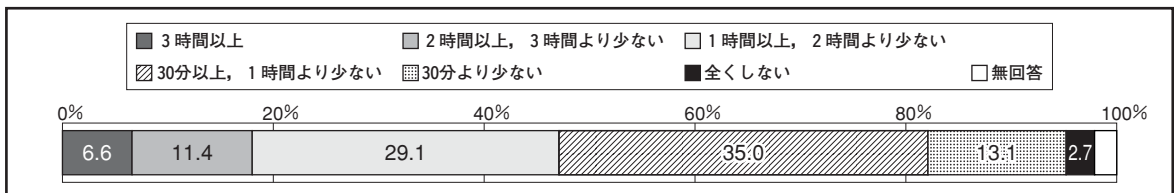
3 次のことは、あなたにどれくらいあてはまりますか。



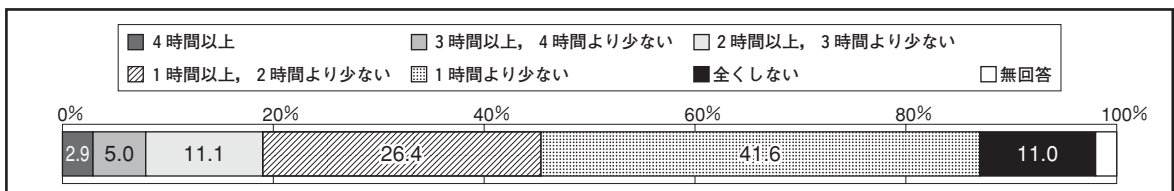
4 あなたは、家で次のようなことをしていますか。



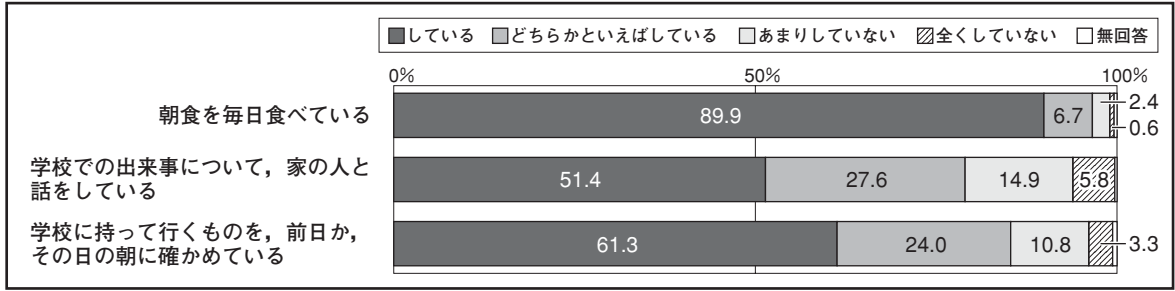
5 あなたは、学校の授業時間以外に、ふだん（月曜日から金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間もふくみます。）



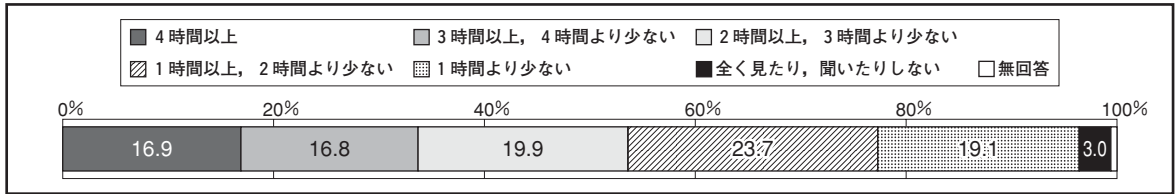
6 あなたは、土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間もふくみます。）



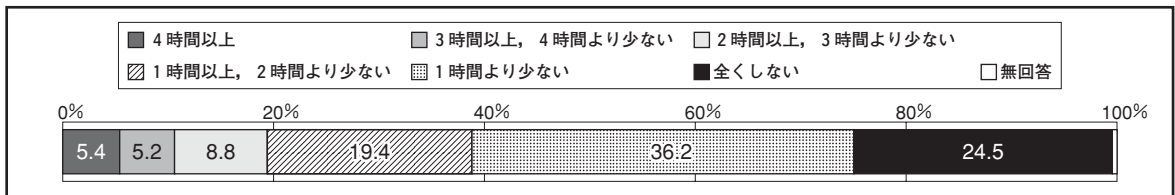
7 あなたは、生活の中で次のようなことをしていますか。



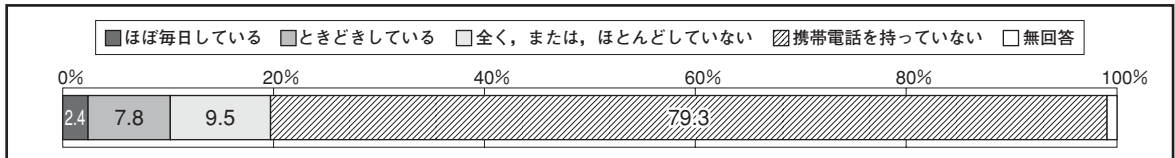
8 (1)あなたは、ふだん（月曜日から金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか。



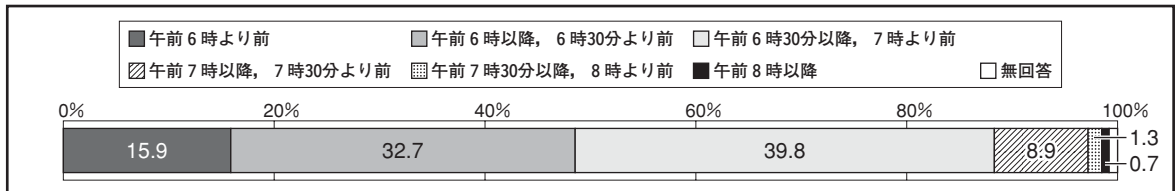
(2)あなたは、ふだん（月曜日から金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲームをふくみます。）をしますか。



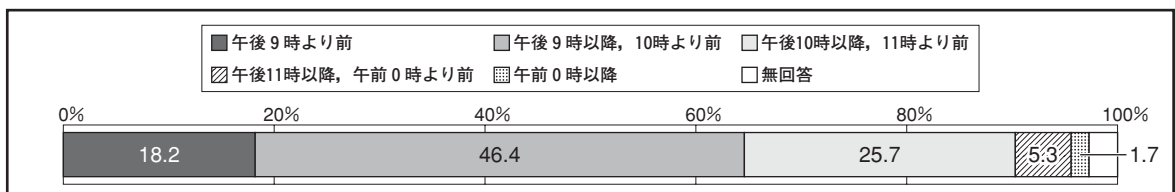
9 あなたは、携帯電話で通話やメールをしていますか。



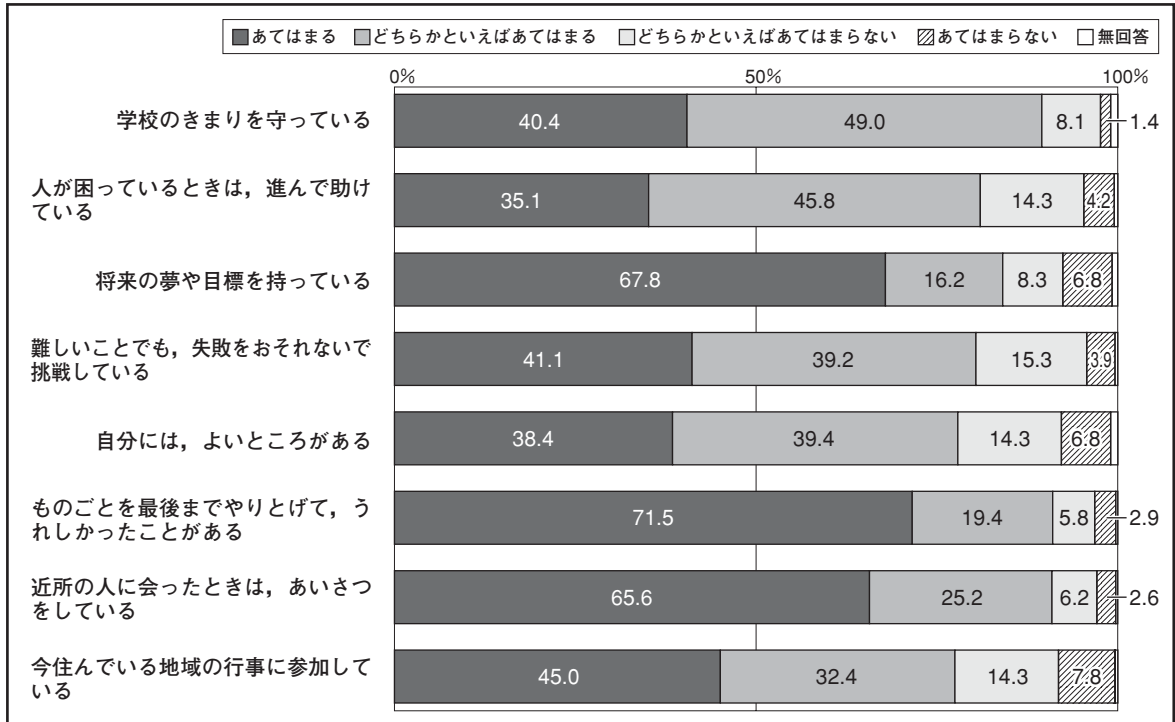
10 (1)あなたは、ふだん（月曜日から金曜日）、何時ごろに起きますか。



(2)あなたは、ふだん（月曜日から金曜日）、何時ごろにねますか。

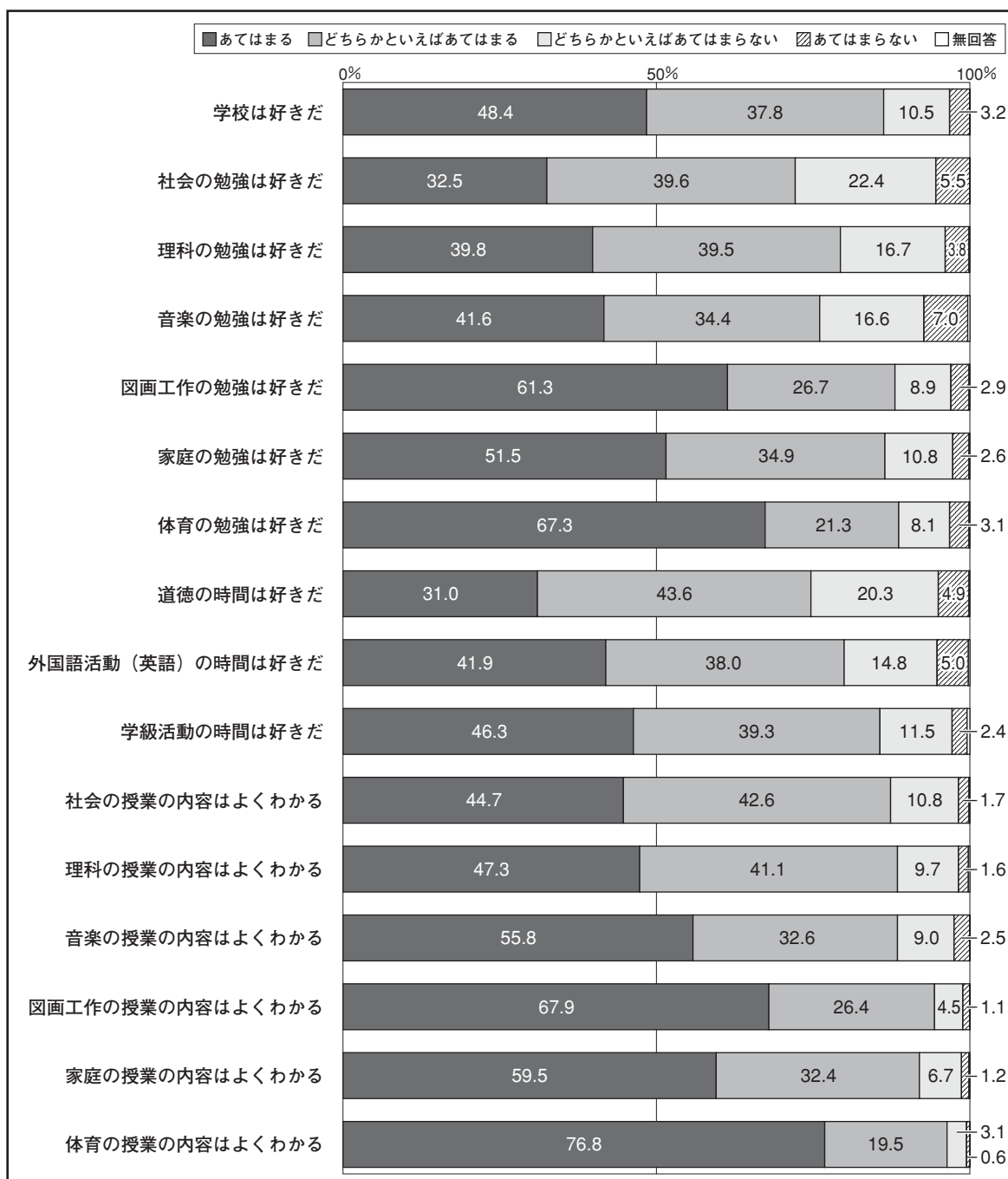


11 次のことは、あなたにどのくらいあてはまりますか。

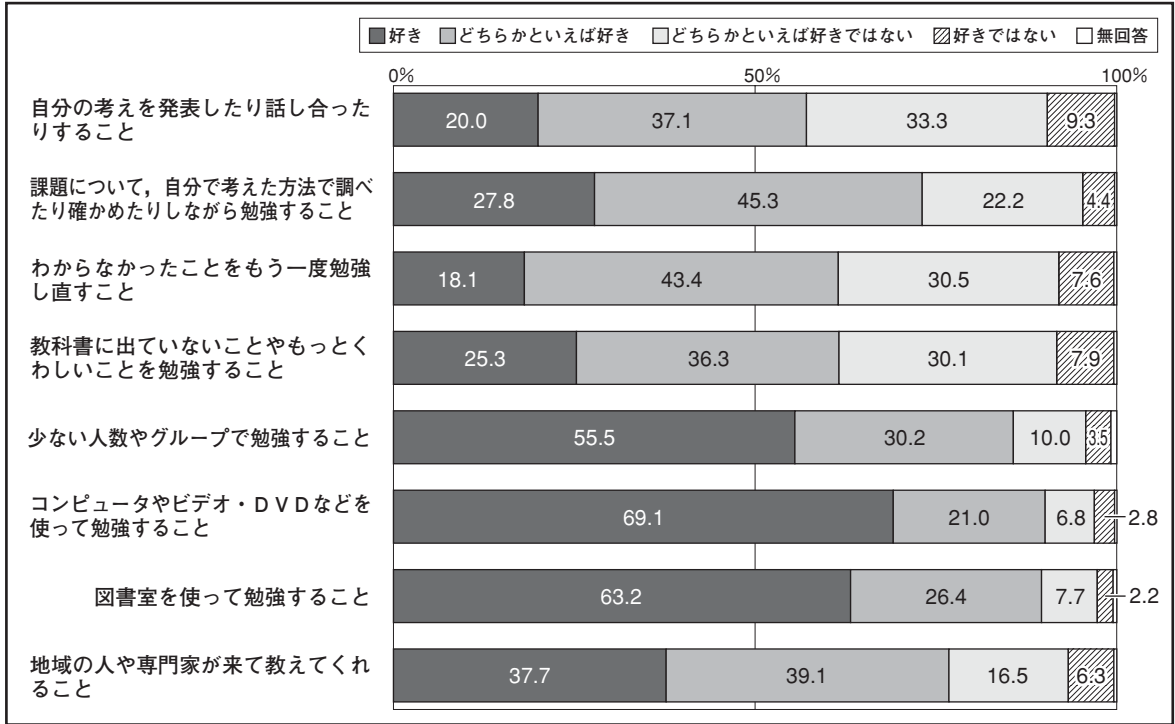


《小学校第6学年》 学校数(児童数)：225校(5,352人)

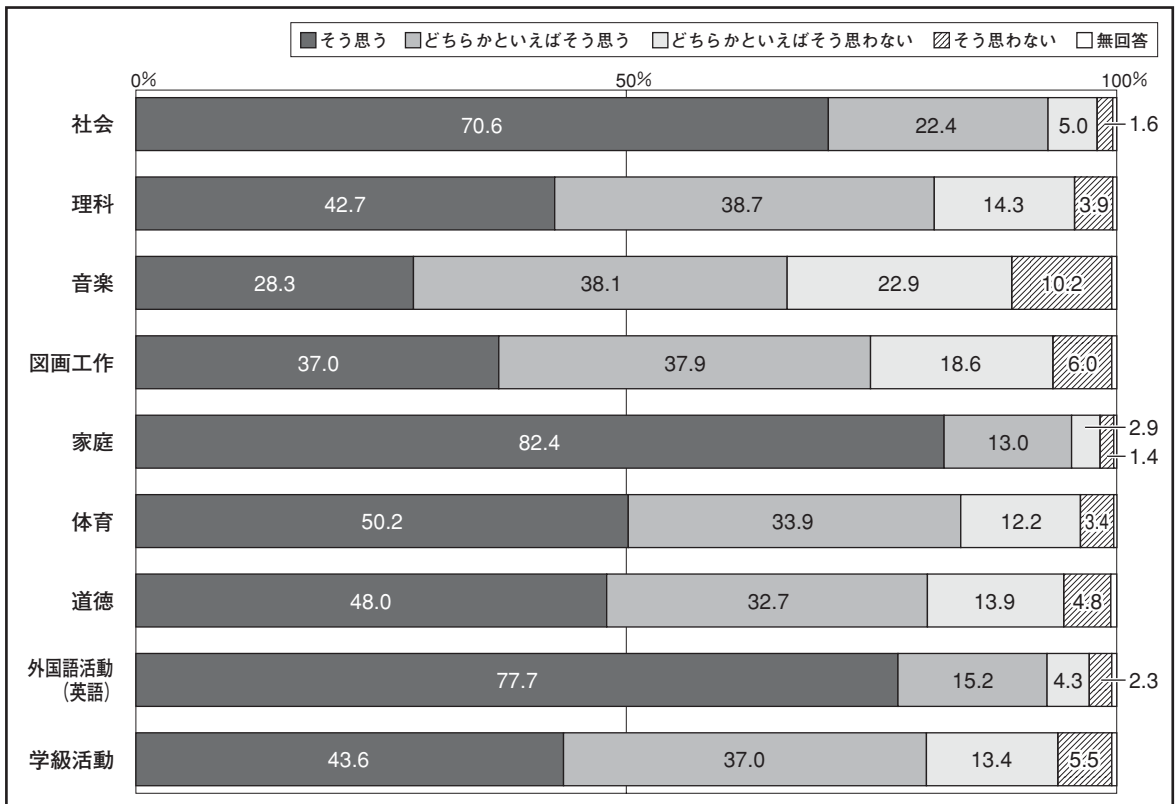
1 あなたは、次のことについてどのように思っていますか。



2 あなたは、授業の中で次のようなことは好きですか。

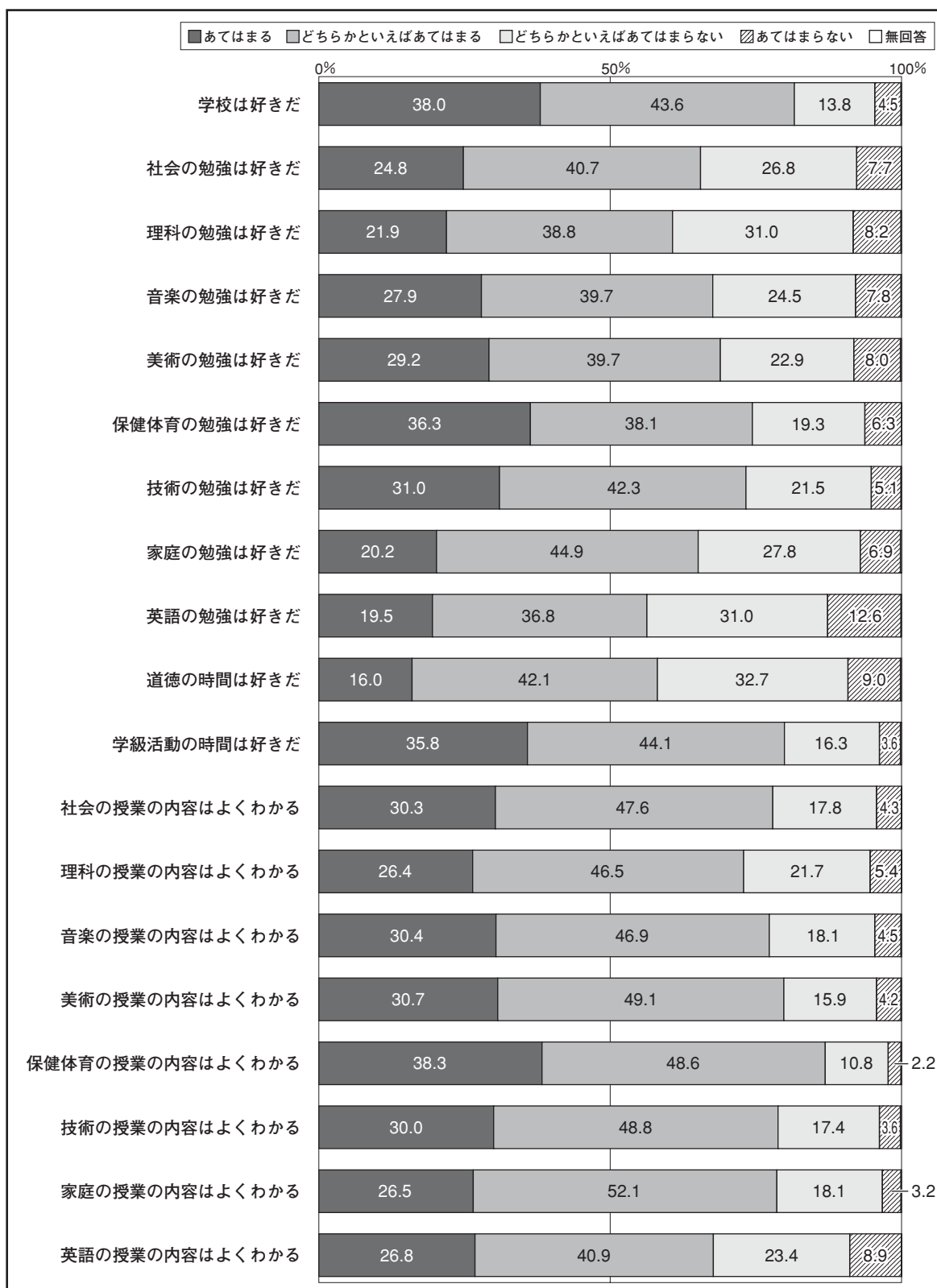


3 あなたは、次の授業で学習したことが、将来の生活を豊かにしたり、社会に出たときに役立ったりすると思いますか。

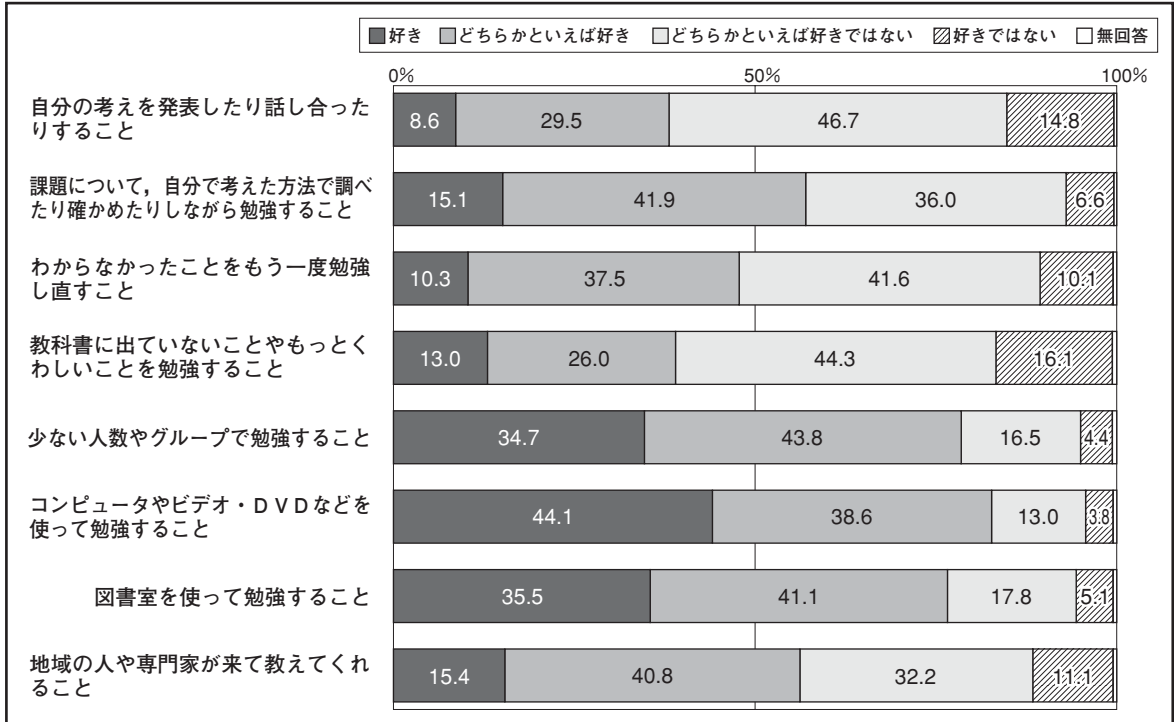


《中学校第3学年》 学校数(生徒数)：94校(2,822人)

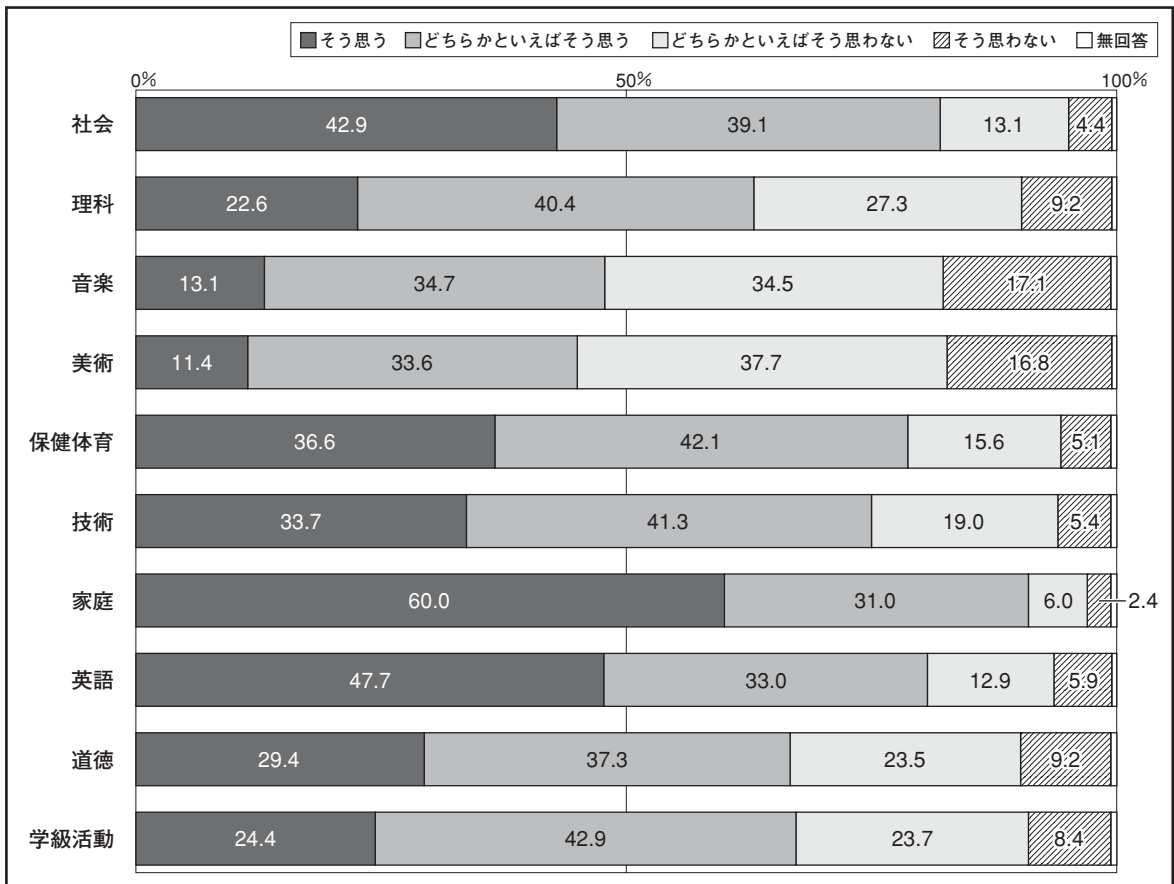
1 あなたは、次のことについてどのように思っていますか。



2 あなたは、授業の中で次のようなことは好きですか。

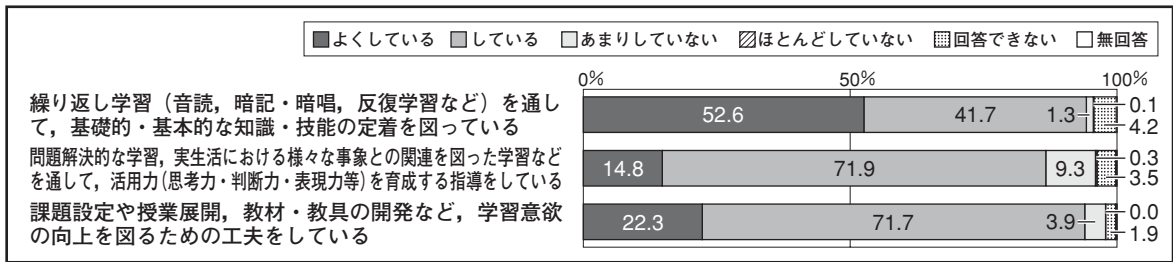


3 あなたは、次の授業で学習したことが、将来の生活を豊かにしたり、社会に出たときに役立ったりすると思いますか。



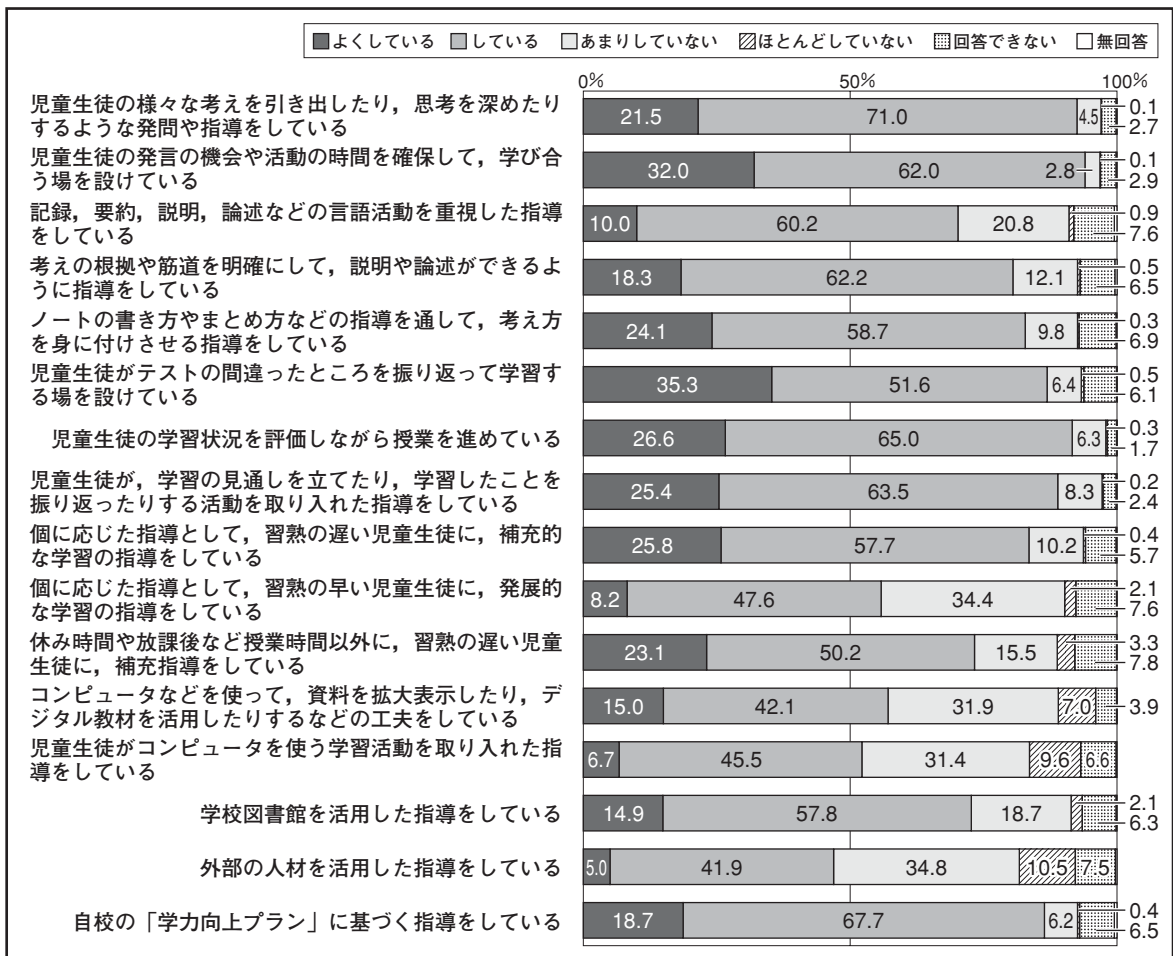
《小学校教員》 抽出校数(教員数)：77校(1,193人)

1 次の指導を、昨年度からどの程度行っていますか。

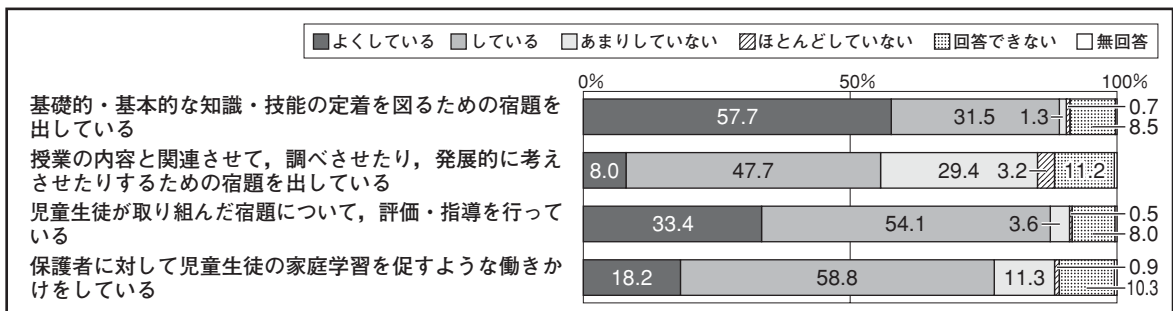


2 次の指導を、昨年度からどの程度行っていますか。

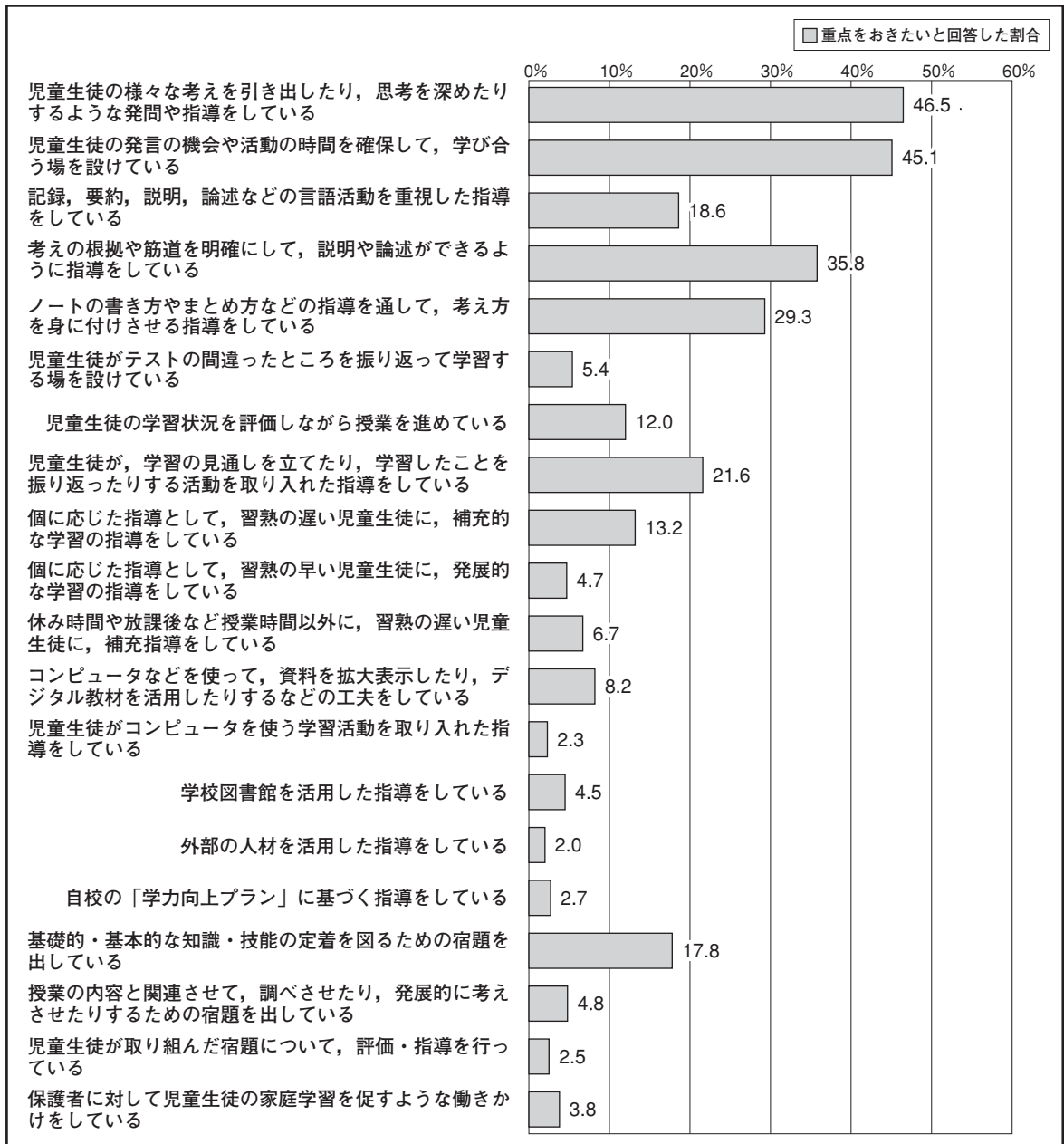
【教科等に関すること】



【家庭学習に関すること】

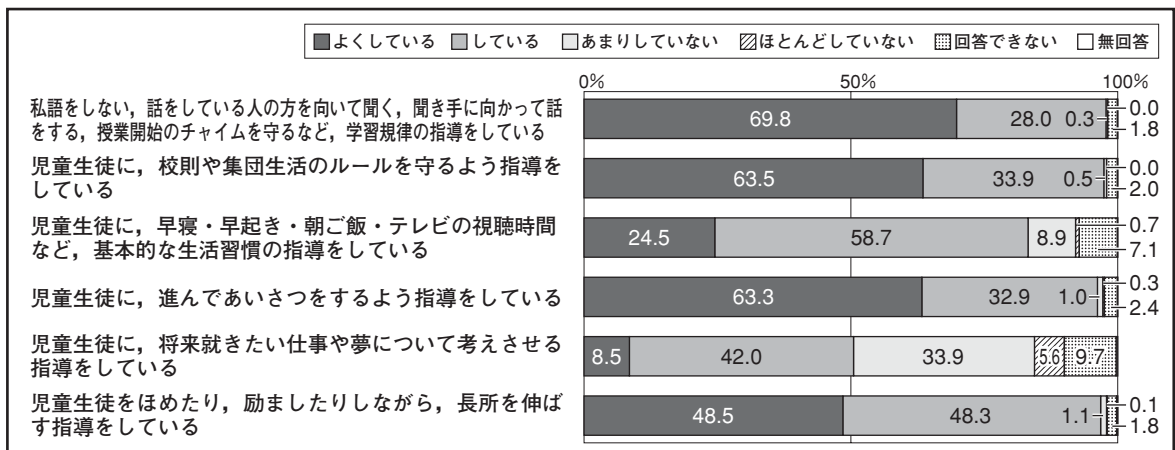


特に重点をおきたいもの（3つ選択）



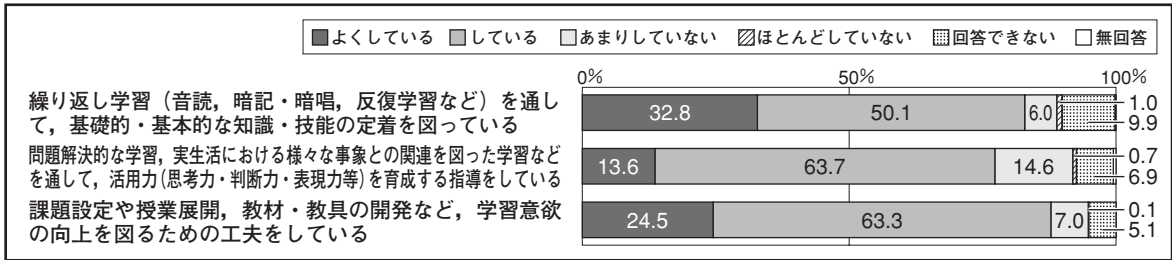
3 次の指導を、昨年度からどの程度行っていますか。

【学習規律等に関すること】



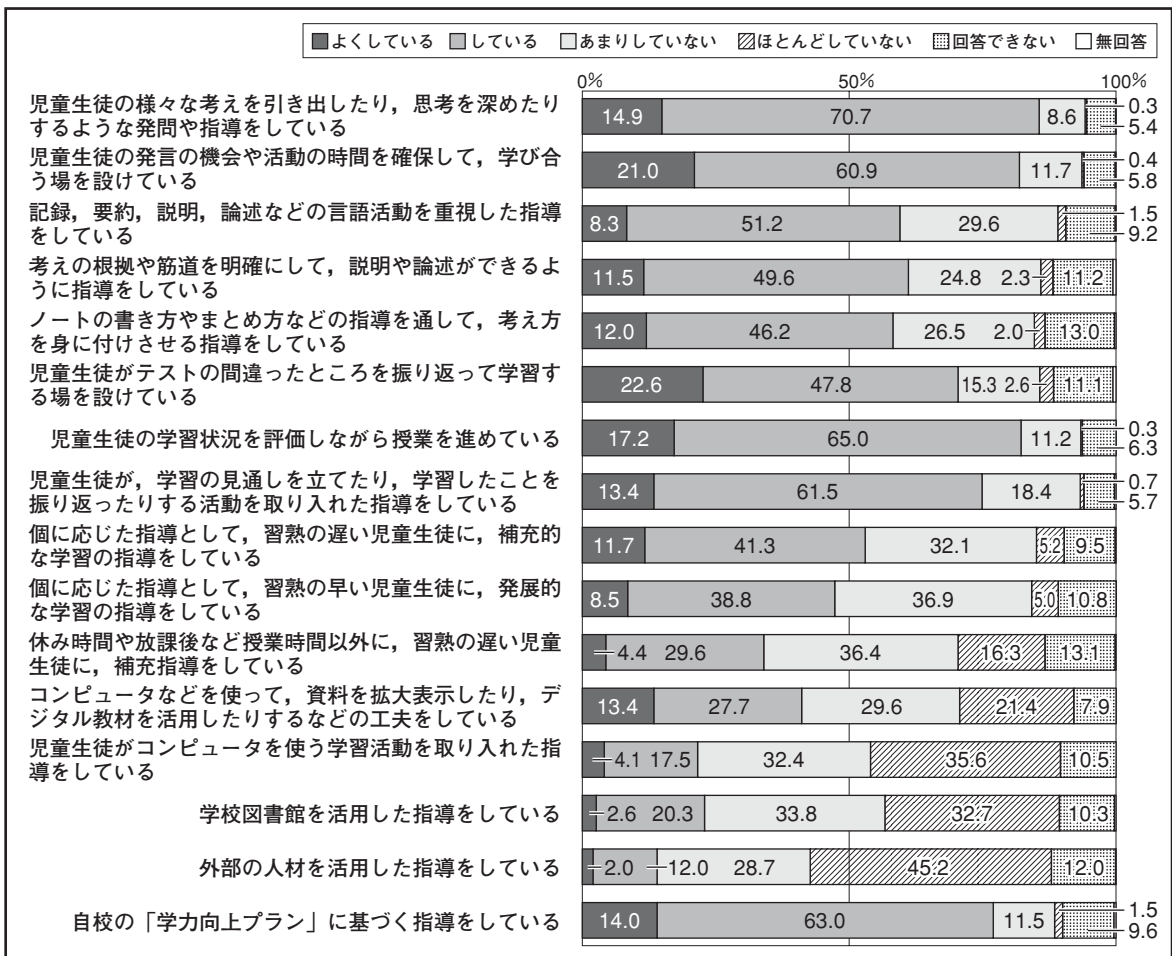
《中学校教員》 抽出校数(教員数)：33校(686人)

1 次の指導を、昨年度からどの程度行っていますか。

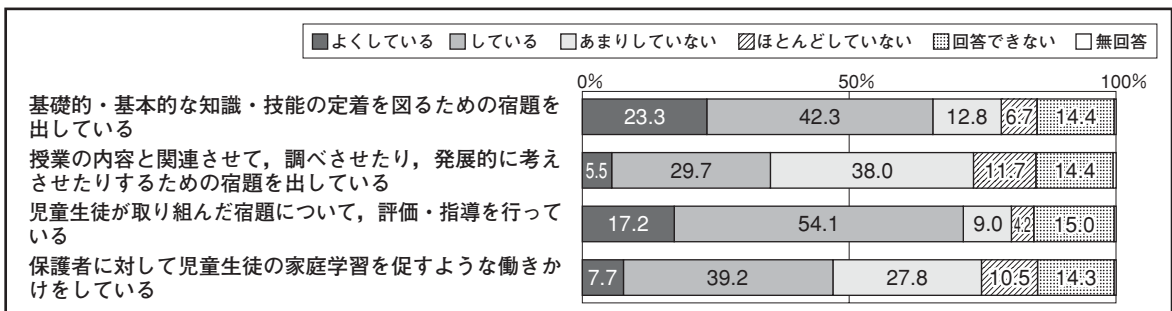


2 次の指導を、昨年度からどの程度行っていますか。

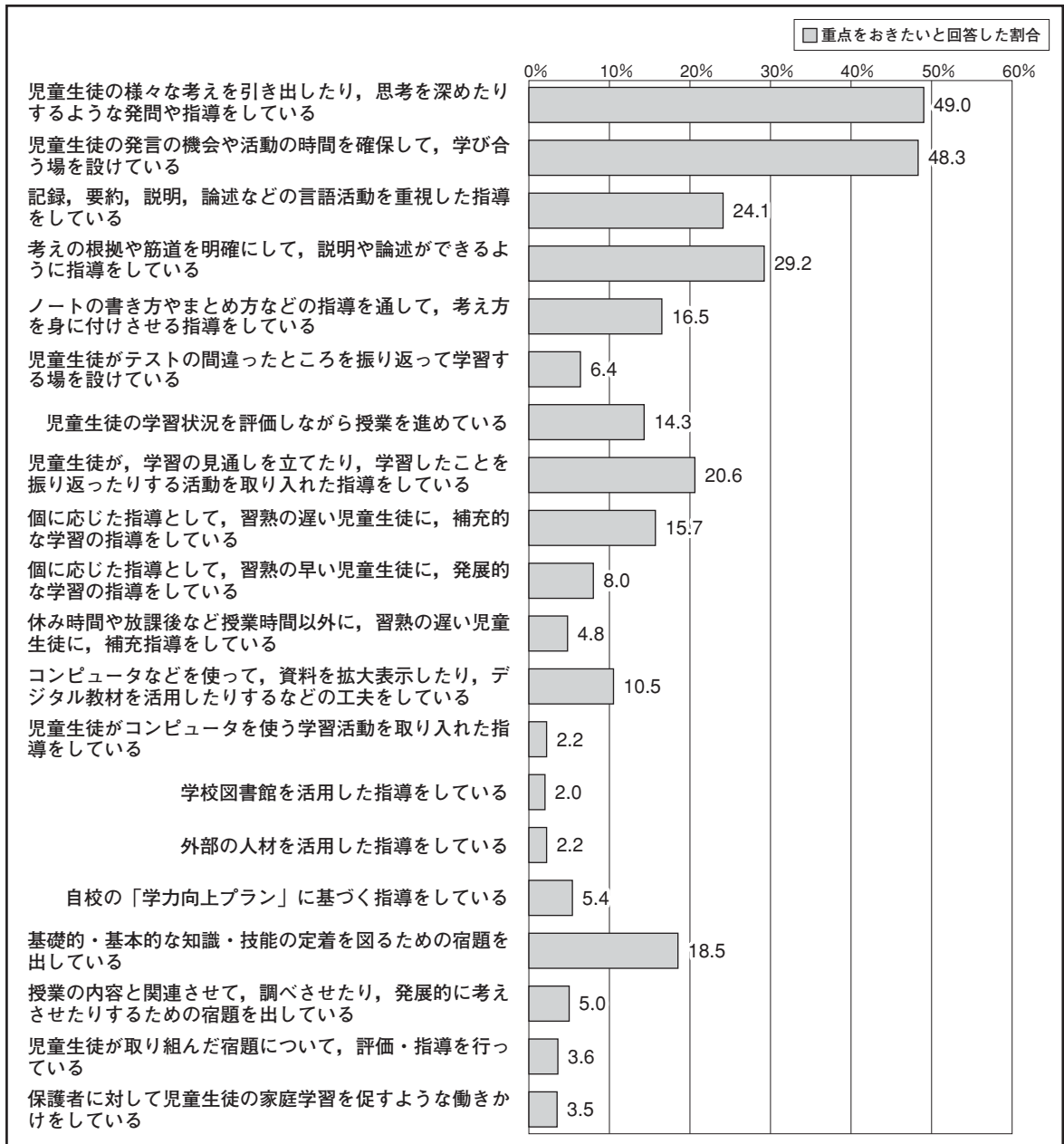
【教科等に関すること】



【家庭学習に関すること】

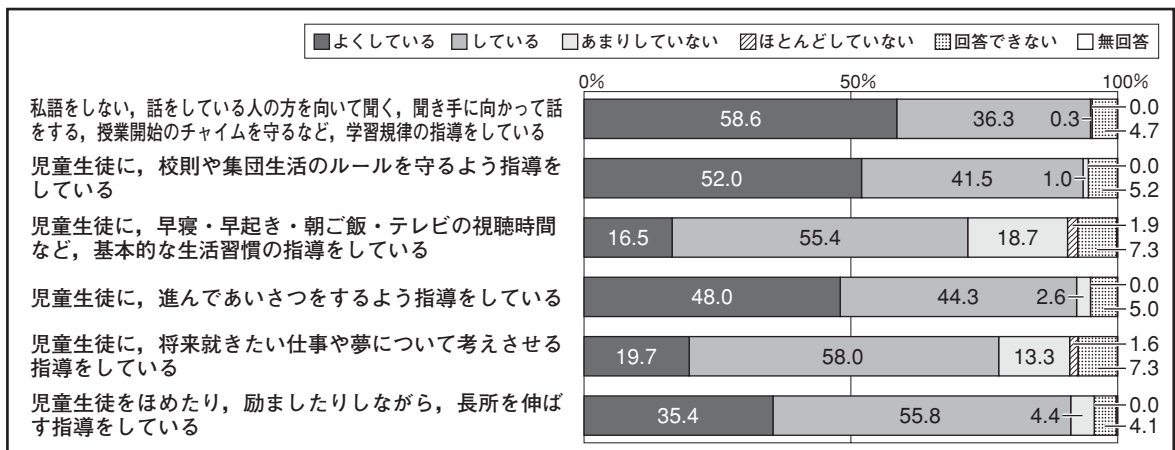


特に重点をおきたいもの（3つ選択）



3 次の指導を、昨年度からどの程度行っていますか。

【学習規律等に関すること】



平成23年度

「基礎学力調査」－結果の概要－

平成23年7月発行

石川県教育委員会事務局学校指導課

〒920-8575 石川県金沢市鞍月1丁目1番地

TEL 076-225-1826

e-mail : gakusi@pref.ishikawa.lg.jp